

千葉市民活動支援センター

2021年度 事業報告書

2022年4月28日

指定管理者

まちづくり千葉・リベルタちば・まちづくり商会

共同事業体

目 次

1. 基本事項	1
(1) 管理運営に係る報告	1
(2) 施設利用実績	2
(3) 人員の配置及び緊急連絡体制	6
(4) 主な報告内容（日報より特筆事項）	7
(5) 取組目標に対する結果の報告	22
2. 施設使用許可業務	23
(1) 使用許可受付関係	23
(2) 利用者要望・苦情への対応等	23
(3) 利用者へのサービス向上、利用率向上の工夫	23
3. 市民公益活動促進事業に関する報告	25
(1) 受託事業報告	25
(2) 自主事業報告	37
4. 施設維持管理業務の実施報告	39
5. 経営管理業務	40
(1) モニタリングの実施状況、分析結果	40
(2) 自己評価	48
(3) 市との連絡調整の実施状況	51
6. 収支決算	52
(1) 受託事業の収支決算書	52
(2) 自主事業の収支決算書	53

(1) 管理運営に係る報告

①事業計画書の細目に沿った報告

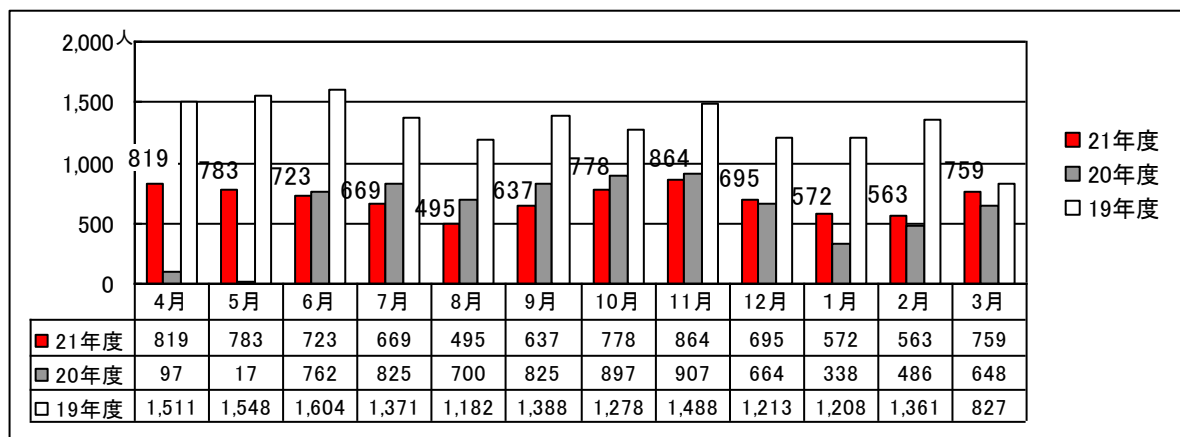
- ・「3. 市民公益活動促進事業に関する報告」において、詳細に記述する。

②情報公開事務の実施状況など

- ・文書の公開の申出があった際は、「情報公開規程」に準じ、情報公開事務を実施する。
- ・2021年度においては、公開申出（公開申出書の提出）は0件であった。

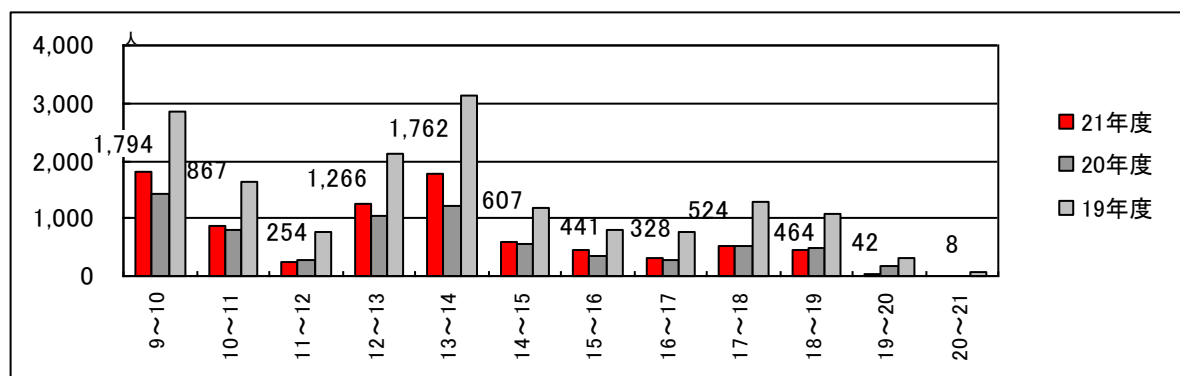
(2) 施設利用実績 ※ () 内は2020年度実績

①月別入館者数 年間合計：8,357人(7,166人)

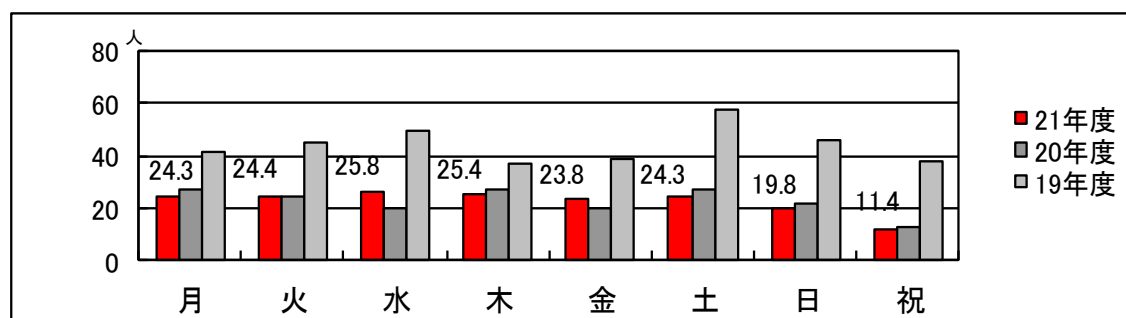


- ・年間合計の入館者数は前年度より約17%増加したが、前年度は臨時休館日が53日間あったため、開館日の日平均入館者数で比較すると、今年度は「23.3人」、昨年度は「23.4人」とほぼ同数であった。新型コロナウイルス感染症が拡大する前(2019年度)と比較すると、概ね半数程度にとどまっている。
- ・センターの会議室等でオンライン会議を開催する団体も増えている。参加者の一部しか来所しないため、入館者数が回復しない要因の一つになっていると推察される。
- ・合計の入館者数は少なかったものの、月別で見ると、8月や12月、1月の入館者数が他の月と比べて少ないという傾向は、例年通りに現れた。

②時間別入館者数



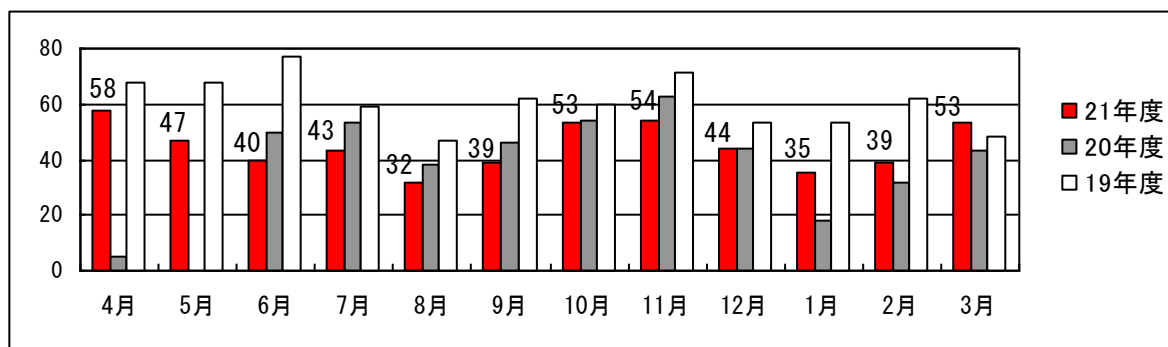
③曜日別入館者数(1日平均数)



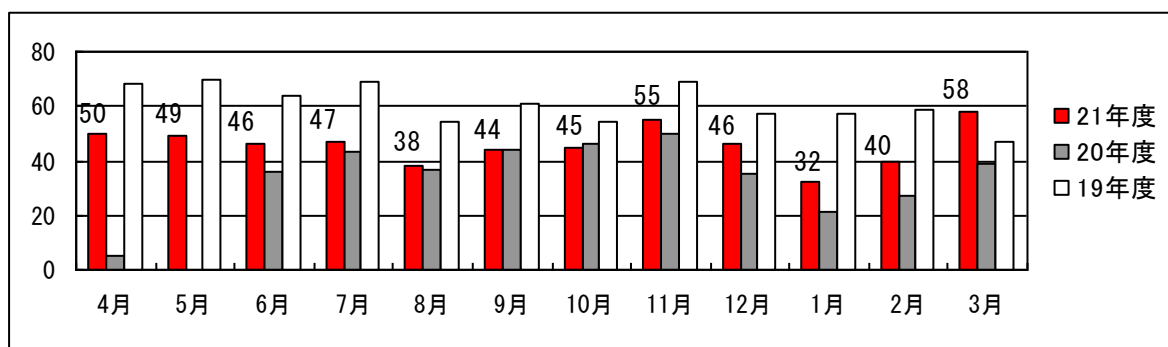
1. 基本事項

- ・時間別の入館者数は、9時台、12時台、13時台が上位3位を占めた。これは、新型コロナウイルス感染症が拡大する前にもよく現れていた傾向である。
- ・9月までは20時で閉館、その後は平常通り21時閉館としていたが、19時台・20時台の入館者は年間合計で50名（前の時間から滞在していた人は除く）と、極めて低調であった。
- ・曜日別の入館者数は、祝日を除いては、曜日で目立った差は現れなかった。コロナ禍前は土曜日が最多となることがほとんどだったが、ここ2年はそういったデータは出ていない。

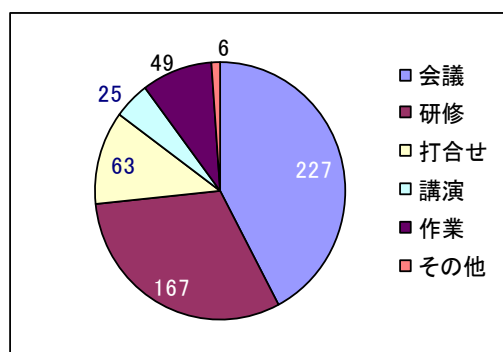
④月別会議室利用団体数 年間合計：537団体（446団体）



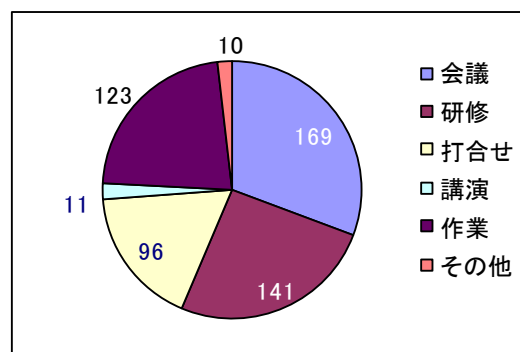
⑤月別談話室利用団体数 年間合計：550団体（383団体）



⑥会議室の利用内訳



⑦談話室の利用内訳

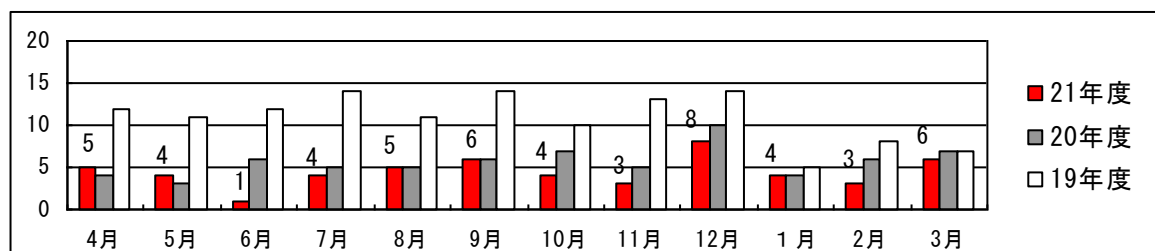


- ・会議室と談話室の利用団体数は、前年度に比べると2~4割増加している。これは、昨年度は大きく減少した「研修」目的の利用件数が、ほぼ倍増していることの影響が大きい。
- ・談話室においては、少人数での「作業」目的での利用も増えており、年間合計の利用団体数は、会議室よりも談話室の方が多くなった。
- ・談話室は利用目的が分散化しているのに対し、会議室は「会議」目的と「研修」目的の利用が突出して多く、この2つで約4分の3を占めた。

1. 基本事項

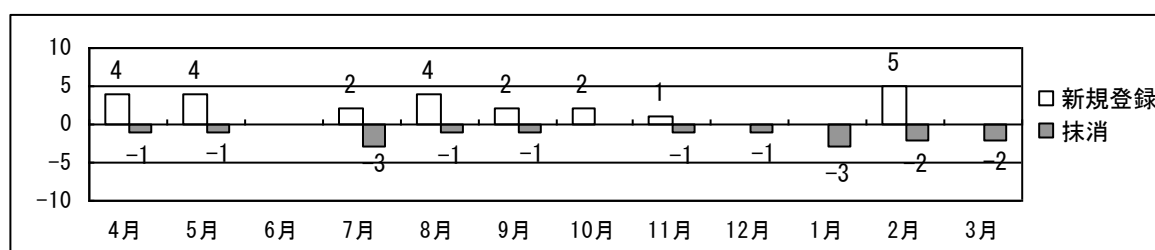
⑧ロッカー利用団体数 年間累計：84団体

⑨紙折機利用回数 年間合計：53回（68回）

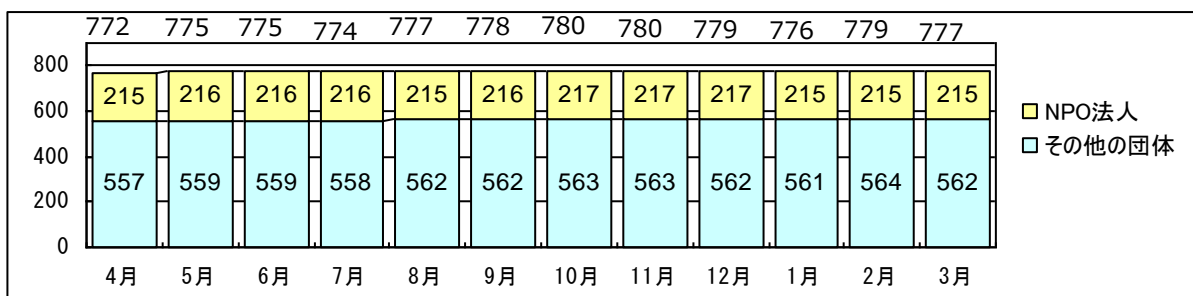


・4月末時点でロッカーの利用団体数は82で、2つの空きがあったが、5月には2団体から新規の利用申請があり、84あるロッカーのすべてが埋まった状態が年度末まで続いた。
 ・紙折機の利用回数は、前年度と比べて約8割に減少した。オンライン会議が増えたり、人が集まるイベントが減ったりしている関係で、紙資料の配布機会が減っていることも要因の一つと考えられる。

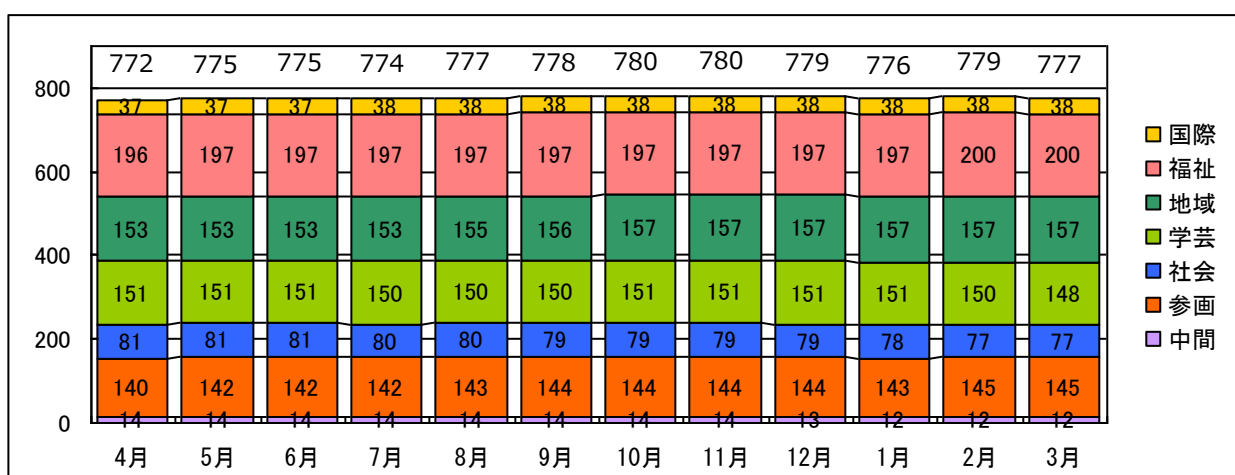
⑩登録団体の増減 前年度比：24増16減



⑪登録団体の推移と区分 2021年度末現在：全777団体



⑫登録団体の推移と分野別内訳



1. 基本事項

●小分野別・NPO法人の有無別の登録団体数（2021年度末現在）

中分野	小分野	NPO法人	任意団体	小分野別 団体数計	中分野別 団体数計
国際	国際協力	10	28	38	38
福祉	保健・福祉	84	116	200	200
地域	まちづくり	20	53	73	157
	環境保全	18	54	72	
	災害救援	1	3	4	
	地域安全	4	4	8	
学芸	学術・文化・ 芸術・スポーツ	21	122	143	148
	科学技術	3	2	5	
社会	社会教育	9	33	42	77
	観光の振興	0	2	2	
	農山漁村 中山間地域振興	1	2	3	
	情報化社会	5	5	10	
	経済活動活性化	0	11	11	
	消費者保護	2	7	9	
参画	人権擁護・ 平和推進	2	30	32	145
	男女共同参画	3	15	18	
	子どもの 健全育成	22	62	84	
	職業能力開発・ 雇用機会拡充	5	6	11	
中間支援	中間支援	5	7	12	12
計		215	562	777	777

- ・登録団体数は、一年間で8団体の純増となった。16の団体が登録を抹消しているが、「代表者の死去により団体を解散したため」といった理由を挙げた団体が目立つ。
- ・登録団体の分野別（中分野）の増減を見ると、この一年間で、「福祉」分野、「地域」分野、「参画」分野がいずれも5団体ずつ増加している。一方、「学芸」分野と「社会」分野がいずれも3団体ずつ減少している。

(3) 人員の配置及び緊急連絡体制

《人員配置》

最低7名の職員を配置し、シフトによりセンターに勤務する。曜日別・時間帯別の人員配置数についてと、勤務時における責任者（以下、単に責任者と呼ぶ）の配置について、下表に示す。

	9：00～18：00 (日中)	18：00～21：00 (夜間)
平日	2名 (うち1名はセンター長、副センター長、または 共同事業体代表が勤務し、責任者となる。)	1名
土曜	2名 (うち1名をシフト決定時に責任者と定める。)	1名
日曜・ 祝日	2名 (うち1名をシフト決定時に責任者と定める。)	

※日中の時間帯も、休憩時（1時間）は1名体制となることがある。

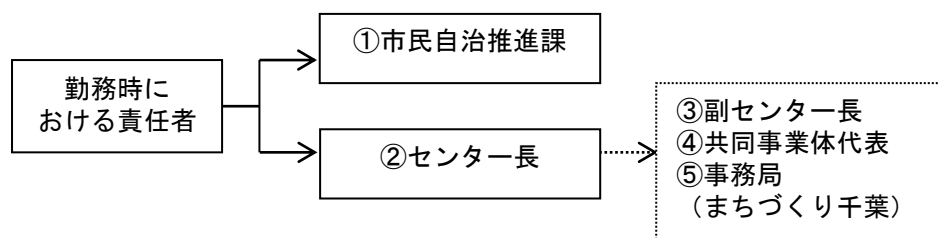
※実際の勤務シフトは、開館前の8:50より最低1名、及び閉館後の21:10(日曜祝日は18:10)まで最低1名が勤務する。

※配置した7名の職員（氏名・役職）は以下の通り。

原田正隆（センター長）、出納いずみ（副センター長）、山本俊子（共同事業体代表）、
佐々木良樹、永棟峰代、藤田敏一、佐藤了正

《緊急連絡体制》

緊急時の連絡体制は、以下のとおりとする。緊急時に責任者は、①と②の双方に必ず電話連絡を入れる。②にすぐに連絡がとれなかった場合は、③・④・⑤の順で、どこかに連絡がとれるまで連絡を試みる。また連絡を受けた②は、必要に応じて対応を①や③・④・⑤と協議するとともに、責任者などに対応についての指示を出す。



(4) 主な報告内容（日報より特筆事項）

《4月16日（金）》

■利用制限の継続について

市民自治推進課より、現在の利用制限の内容を4月22日以降も継続。期間を5月11日まで延長することが決まった旨連絡あり。

《4月20日（火）》

■広報依頼の件①

美浜区地域振興課より依頼のあった「美浜区地域活性化支援事業の追加募集」の情報のホームページ掲載記事を整え、4月23日に公開予約した。

■広報依頼の件②

「大同生命厚生事業団」より依頼のあった「シニアボランティア活動助成」と「ビジネスパーソンボランティア活動助成」の助成情報を、当ホームページに掲載した。

■広報依頼の件③（活動部会）

「フェアトレードちば」から依頼のあった「フェアトレードフェスタちば2021」の情報を、当ホームページに掲載した。

《4月23日（金）》

■環境保全課より依頼

標記の課より、市の補助金の周知依頼あり。昨年度も同様の依頼がきており、メールリストで発信するなどしているが、まずは詳しい内容をメールで送付してもらうように回答した。またチラシ(募集要項)の配架依頼もあったので、郵送してもらうように伝えた。

■新型コロナワクチン接種に関するお知らせ（掲示依頼）

市民自治推進課より、標記の依頼あり。入口正面の掲示板の下のホワイトボードに貼り出した。

《4月24日（土）》

■利用制限の継続について

市民自治推進課より、千葉市も4月28日に「まん延防止等重点措置」の対象地域に加わる見込みだが、現在の利用制限の内容や期間に変更はないことが決まった旨の連絡あり。

《4月25日（日）》

■登録団体から配架依頼があった講演のチラシについて

標記のチラシについて、内容の説明に「応答責任を政府が一切果たさない」といった記載があるので、配架は不可とした。

1. 基本事項

《4月27日（火）》

■広報依頼の件

中央区地域振興課から依頼のあった「令和3年度中央区地域活性化支援事業（追加募集）」の情報を、当ホームページに掲載した。

《4月28日（水）》

■メルマガ掲載依頼の件

市民自治推進課から4月26日に依頼のあった「千葉市市民自治によるまちづくり条例の解説動画を制作・公開した」という旨の情報を、本日発行のメルマガに掲載した。

《4月30日（金）》

■コンセント増設工事の日程調整

標記について、業者の関電工から、センターに近日中に電話連絡が入る予定。会議室と談話室を抑える必要があるため、連絡があったら対応し、工事日程が決まったら、市民自治推進課に連絡をする。

■ちば市民活動・市民事業サポートクラブと打合せ

標記団体より当センター宛てに、今年度受託した「ちばし地域づくり大学校」の講師および広報への協力依頼をしたいと連絡があり、対面による打合せを実施した。なお、事業に位置づけるかどうかは所管課と協議をする。

《5月1日（土）》

■環境保全課からの依頼に対応

標記の課からの依頼（千葉市地域環境保全自主活動事業補助金の周知）について、地域分野のメーリングリストに発信した。

《5月4日（火・祝）》

■広報依頼の件

住宅政策課より依頼のあった「第6回空家等セミナー・相談会開催」の情報を、当ホームページに掲載した。

《5月7日（金）》

■環境保全課所管の「千葉市地域環境保全自主活動事業補助金」の件

応募要件の一つに「センターの登録団体であること」とあるが（特に連絡等はなく、例年、こういった要件が付されているようである）、本日、某自治会より登録の方法について問合せがあった。自治会は登録できない旨を先方に回答し、また環境保全課にもこのことを報告した。

《5月9日（日）》

■広報依頼の件

環境保全課の「千葉市地域環境保全自主活動事業補助金」の情報を、当ホームページに掲載した。

1. 基本事項

《5月10日（月）》

■利用制限の継続について

市民自治推進課より、現在の利用制限の内容を5月12日以降も継続。期間を5月31日まで延長することが決まった旨連絡あり。

《5月11日（火）》

■広報依頼の件

「千葉市マンション管理組合協議会」より依頼のあった「マンションの新任役員研修会」の情報を、当ホームページに掲載。

《5月13日（木）》

■広報依頼の件

花見川区役所地域振興課より依頼のあった「令和3年度花見川区地域活性化支援事業（追加募集）」の助成情報を、当ホームページに掲載。

《5月17日（月）》

■当ビル屋上の防水工事について

防災センターの職員と業者が来所。当ビルの9階からしか行くことができない場所に小さな屋上があり、その防水工事が7月中旬頃にかけて行われるという旨と、資材の搬入や音が出る作業があるが、それらは朝の8時までに行うとの説明あり。業務や利用者に支障はないので、特に対応等は不要。

《5月19日（水）》

■中央区地域振興課からの連絡

きぼーの予約（11/18～21、市民活動フェスタで利用）に関して、一週間前倒しすることは可能か？という相談あり。公式に開催日程の発表等はしていないが、スタッフには周知しているし、他の事業予定との兼ね合いもあるので前倒しは不可能と回答。

《5月24日（月）》

■生涯現役応援センターより依頼

標記の関さんが来所。昨年度と同様、先方主催のセミナー（8/18 開催予定）に、団体を紹介するといった形で協力をするようになった。事業 No. 27 に位置付ける。（35 ページに報告を記載。）

■中央区地域振興課来所

標記の課の課長および職員が来所。5/19 に相談のあった件について、ご挨拶がしたいとのこと。経緯等の説明があり、再度、日程の前倒しについて相談があったが、回答は保留とした。

《5月25日（火）》

■広報依頼の件

「ちばのWA地域づくり基金」より依頼のあった「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金 第3次助成公募」の助成情報を、当ホームページに掲載。

1. 基本事項

《5月26日（水）》

■指定管理者選定評価委員（新任者）の視察対応

標記につき対応。10分間程度、館内の案内や事業の説明をした。

《5月27日（木）》

■コンセント増設工事

業者により、館内の5箇所にコンセントが増設された。（除湿器と冷風扇設置のため。）

《5月28日（金）》

■除湿器を設置

業者により、館内の5箇所に除湿器が設置された。

《5月31日（月）》

■利用制限の継続について

市民自治推進課より、現在の利用制限の内容を6月1日以降も継続。期間を6月20日まで延長することが決まった旨連絡あり。これを受けて、HPへの掲載、館内への掲示の貼り出しなどの周知を行った。

《6月5日（土）》

■空調に関する共有事項

本日までに、除湿器・冷風扇の設置が完了。また、体感温度がかなり上がってきたので14時過ぎに防災センターに連絡したところ、窓際のファンコイル空調の設定温度はまだ下げることができるとのことであった。（真夏になったら冷水をつくる機械をフル稼働させ、さらに冷気を強めることができるといった説明だった。）

《6月9日（水）》

■千葉市シェアリングエコノミー推進事業について

国家戦略特区推進課の職員2名と、受託事業者（幕張PLAY）が来所。標記の説明とクラウドファンディングのセミナー・ワークショップ等の周知への協力依頼あり。またセミナーはオンライン方式だが、オンライン参加が困難な方のために、センターをサテライト会場にする模索をすることになった。事業No.17「多様な主体との連携づくり」に位置づける。（32ページに報告を記載。）

《6月12日（土）》

■広報依頼の件

政策企画課より依頼のあった「千葉市まちづくりシンポジウム」の情報を、当ホームページに掲載。

1. 基本事項

《6月16日（水）》

■市民自治推進課からの「稼働率」についての問合せ

先日、市民自治推進課から問合せのあった、H29、H30、R2 年度の会議室・談話室の稼働率について集計をし、回答した。

《6月19日（土）》

■利用制限の継続について

昨日、市民自治推進課より、現在の利用制限の内容を6月21日以降も継続し、期間を7月11日まで延長することが決まった旨の連絡あり。これを受けて、HP への掲載、館内への掲示の貼り出しなどの周知を行った。

《6月21日（月）》

■市民自治推進課からの「まちなかボランティア養成講座」についての問合せ

先日、市民自治推進課から問合せのあった、「まちなかボランティア養成講座」の全受講者数、修了者、未修了者（講座のみの受講者と、講座+実習1回のみの受講者）の数について回答した。

■市民自治推進課からの「会議室・談話室の利用件数」についての問合せ

先日、市民自治推進課から問合せのあった、「会議室・談話室の利用件数」のトップ10の団体について集計をし、回答した。

■当ビル3階（文化センターのガラス面）に貼ってあるフィルム看板について

標記の看板がはがれかけている件について、文化振興財団に連絡。看板は当センターの開所当初に、認知を広げるため暫定的に設置したもので、劣化が進んでいて再度の貼り付けは無理な状態であることなどから、本日撤去をしてもらい、再設置はしないこととした。

《6月29日（火）》

■広報依頼の件

住宅政策課より依頼のあった「第7回空家等セミナー・相談会」の情報を、当ホームページに掲載。また、チラシを郵送したとのことで、到着次第、配架することとした。

《7月3日（土）》

■広報依頼の件

国家戦略特区推進課より、市が主催のシェアリングエコノミー推進事業（クラウドファンディングセミナーなど）の事業の告知を、センターのホームページに掲載してほしいという依頼あり。セミナーの他、日程の異なる3つの事業があるため、タイミングをずらして掲載をすることとした。

《7月6日（火）》

■美浜区民フェスティバル中止の通知

「美浜区民フェスティバル実行委員会」より、標記の旨、郵便で通知あり。

1. 基本事項

《7月10日（土）》

■広報依頼の件

「住友生命保険相互会社」より依頼のあった「第15回 未来を強くする子育てプロジェクト」の「子育て支援活動の表彰」と「女性研究者への支援」の2件の情報を、当ホームページに掲載。

■利用制限の継続について

昨日、市民自治推進課より、現在の利用制限の内容を7月12日以降も継続し、期間を8月22日まで延長することが決まった旨の連絡あり。これを受けて、HPへの掲載、館内への掲示の貼り出しなどの周知を行った。

《7月14日（水）》

■広報依頼の件

「ちばのWA地域づくり基金」より依頼のあった「子どもの今と未来を支える基金 新型コロナ対策緊急支援助成プログラム【第二次】」の助成情報を、当ホームページに掲載。

《7月17日（土）》

■広報依頼の件

国家戦略特区推進課から依頼のあった「クラウドファンディング入門セミナー」の情報を、当ホームページに掲載。なお、同じ依頼元からの「クラウドファンディングワークショップ（9月開催）」の情報は、8月に入ってから掲載予定。

《7月20日（火）》

■広報依頼の件

「洲崎福祉財団」より依頼のあった「障害児・者に対する自立支援活動への助成募集」の情報を、当ホームページに掲載。

《7月21日（水）》

■広報依頼の件

「ふれあいの家」より依頼のあった「手話講習会（初級）」の情報を、当ホームページに掲載。

■空調について

18時時点で会議室の温度は29℃。除湿機をつけても温度（体感的にも）はあまり変わらず、天井裏からの送風が弱く感じるため、利用者からのクレームはないが、防災センターに問合せ。回答は、ファンコイル空調の冷房はこれが最大の出力で、会議室の天井裏からの送風も最大（吹き出し口が細長い形状になっていて、風力は弱く出てくるタイプ）との説明だった。会議室には、暖気がこもってしまっていると感じる。市民自治推進課に、これらの状況を報告した。

《7月23日（金・祝）》

■広報依頼の件

千葉県県民生活・文化課より依頼のあった「ちばコラボ大賞」の情報について、登録団体のメーリングリストへの発信、およびFacebookページへの投稿をした。

1. 基本事項

《7月30日（金）》

■産業振興財団の理事長らが来所

標記の理事長と常務理事が来所。具体的な話ではなかったが、今後は、地域課題解決の取り組みやコミュニティビジネスを行う市民活動団体に対する支援も考えているので、情報交換や連携をしていきたい、といった内容。

《8月4日（水）》

■室温の状況について

17時から18時頃の会議室の室温は、30℃前後に。温度計を置く場所を変えてもほぼ変わらず。同じ頃、事務スペースの机に温度計を置いたところ、29℃近くであった。明日15時から、指定管理者説明会もあるので、市民自治推進課に状況を報告した。

《8月10日（火）》

■広報依頼の件

「千葉市マンション管理組合協議会」より依頼のあった「マンションの法律問題研修会」の情報を当ホームページに掲載。

《8月11日（水）》

■空調の件

文化センターの会議室に利用がないときも、文化センター側の空調を入れてもらうように文化振興財団に依頼するも「できない」との回答。ちなみに先方は、「センターの入口を締め切ってみてはどうか」と言っている。また、窓際のファンコイル空調について、防災センターと相談。こちらからの指示で、稼働開始の時間を好きな時間からにすることが可能とのこと。試しに明日は、午前3時から稼働させてもらうことにした。

■広報依頼の件

国家戦略特区推進課より依頼のあった「クラウドファンディング実践ワークショップ」の情報を当ホームページに掲載。

《8月12日（木）》

■広報依頼の件

本日配信をしたメールマガジンに、国家戦略特区推進課から依頼のあった「クラウドファンディング実践ワークショップ」の情報と、市民自治推進課から依頼のあった「千葉市協働事業提案制度」の情報を掲載。

《8月18日（水）》

■利用制限の継続について

市民自治推進課より、緊急事態宣言の延長に伴い、現在の利用制限の内容を9月1日以降も継続。期間を9月12日（日）まで延長することが決まった旨連絡あり。これを受けて、HPへの掲載、館内への掲示の貼り出しなどの周知を行った。

1. 基本事項

《8月20日（金）》

■環境総務課からの依頼に対応

7月30日に依頼があった以下の2点について、本日までに対応を完了した。

- (1) 環境保全を主として活動している団体リストの更新
- (2) メーリングリストでのアンケート回答依頼の送信

《8月23日（月）》

■広報依頼の件

8月16日に観光プロモーション課から依頼があった「千葉市習いごと応援キャンペーン」の周知について、メーリングリスト宛てに案内文を送信した。

《8月26日（木）》

■広報依頼の件

国家戦略特区推進課から掲載依頼の「クラウドファンディングのサポート実施」の情報を、本日発行のメルマガに掲載した。これで、国家戦略特区推進課からのメルマガへの掲載依頼はすべて対応を完了した。

《8月28日（土）》

■広報依頼の件

国家戦略特区推進課より依頼のあった、「フードシェアリングサービス説明会」の情報を、メーリングリストとFacebook ページで発信した。

《9月1日（水）》

■広報依頼の件

「ふれあいの家」より依頼のあった「令和3年度 視覚障害者への音訳ボランティア講習会」の情報を、当ホームページに掲載。

《9月9日（木）》

■広報依頼の件

「千葉県福祉ふれあいプラザ」より依頼のあった「コミュニティカフェ開設講座」の情報を、当ホームページに掲載。

《9月10日（金）》

■利用制限の継続について

市民自治推進課より、緊急事態宣言の延長に伴い、現在の利用制限の内容を9月13日以降も継続。期間を9月30日（木）まで延長することが決まった旨連絡あり。これを受けて、HPへの掲載、館内への掲示の貼り出しなどの周知を行った。

1. 基本事項

《9月14日（火）》

■パレット柏・市民活動サポートコーナーより問合せ

センターのホームページに関して、掲載されている登録団体情報は、紙ベースでも配布しているのかといった内容。配布はしておらず、またホームページに掲載されているものと様式は多少異なるが、閲覧用のファイルで公開している旨回答した。

《9月23日（木・祝）》

■登録団体の活動に関するクレーム

9月16日に登録を承認した団体の活動に関して、クレームの電話あり。「駅前で宣伝活動をしているところに遭遇したが、公益的な内容とは思えなかった。どういう条件で団体登録ができたのか。」といった内容。ちなみに、当該団体と面談をした際は、特に問題は見受けられなかった。クレームを寄せた方は、さらなる回答の要求はしていないが、市民自治推進課にも報告をし、再度クレームがきたときの対応や考え方を、センターとしてまとめておくこととした。

《9月30日（木）》

■利用制限の変更

市民自治推進課より、緊急事態宣言の終了に伴い、現在の利用制限の内容を変更し、10月1日から10月24日の期間は、閉館時間を21時にする旨連絡あり。これを受けて、HPへの掲載、館内への掲示の貼り出しなどの周知を行った。

《10月1日（金）》

■「ちばぼら」に関するヒアリング

市民自治推進課の職員が来所。「ちばぼら」と「チーム千葉ボランティアネットワーク」の統合について、率直な意見等が聞きたいとのことで、ヒアリングに対応をした。

《10月6日（水）》

■市民自治推進部長らが見学に来所

標記の部長の他、市民自治推進課長ら、計3名の職員が施設の見学に来所した。

《10月8日（金）》

■千葉県県民生活・文化課の職員らが来所

標記の職員、および千葉県の事業の受託業者が来所。今後、事業への協力依頼をするかもしれないとのことで、センターの概要の説明と、施設の案内などをした。ちなみに事業の内容は、ボランティア受入れ団体の紹介や、マッチングに関連するものとのこと。

《10月12日（火）》

■広報依頼の件

「6時の公共」より依頼のあった『学習会「国境を超える感染症」』の情報を、当ホームページに掲載。

1. 基本事項

《10月14日（木）》

■千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議の件

千葉県が事務局となっている、標記会議の第1回幹事会に出席。

《10月18日（月）》

■空調の件

急に冷え込んできたため、空調の件で、防災センターおよび市民自治推進課に問い合わせをした。確認した事項は以下のとおり。

- ・窓際のファンコイル空調はまだ暖房の設定になっていないが、寒い場合は防災センターに連絡をすれば、暖房にしてくれる。
- ・天井裏の空調の工事が完了する（冷暖房機能が稼働する）のは、11月下旬頃になる。

《10月22日（金）》

■空調の件

天井裏の空調は、これまで換気の意味で常に送風になっていたが、寒い場合などは防災センターに連絡をすれば、送風を止めてもらうことができることを確認した。また、今日はかなり冷えたので、窓際のファンコイル空調の暖房を入れてもらうようお願いした。後刻、防災センターの職員が状況の確認等のために来所した。

《10月25日（月）》

■利用制限の継続について

市民自治推進課より、本日以降も、現行の（これまでの）利用制限の内容を当面の間継続するという旨の連絡あり。これを受けて、HPへの掲載、館内への掲示の貼り出しなどの周知を行った。

《10月26日（火）》

■広報依頼の件

住宅政策課より依頼のあった「第8回空家等セミナー・相談会」の情報を、当ホームページに掲載。

《10月28日（木）》

■千葉県県民生活・文化課からの事業協力依頼

10月8日に依頼をした件に関して、具体的に説明がしたいと、標記の課の職員および受託業者が来所。協力をお願いしたい内容は、「地域ボランティア活動環境整備事業」という新規事業で、マッチングサイトの作成が主たる内容となるが、そのサイトの周知（掲載団体の募集や紹介など）とのこと。サイトの開設は12月を予定しているので、また動きがあり次第連絡をもらえることになった。

1. 基本事項

《10月29日（金）》

■空調の件

朝、天井裏の空調（送風）が停止したため、防災センターに連絡をしたところ、空調工事の開始に伴い、11月末まで送風が完全に停止するとの説明があった。なお、窓際のファンコイル空調は稼働しているが、外気の取り入れはないので、11月末まで完全に外気の取り入れが止まることになることと判明した。

《11月1日（月）》

■空調工事の工程表

市民自治推進課より、天井裏の空調設備修繕工事の工程表を受理。

《11月20日（土）》

■広報依頼の件

「洲崎福祉財団」より依頼のあった「障害児・者のQOL向上、社会課題の解決に寄与する事業への助成」の情報を、当ホームページに掲載。

《11月28日（日）》

■室内での飲食について

コミュニティセンターのHPには、「昼食時間を跨ぐ利用や近隣に食事に適した場所がない場合等、やむを得ず館内で食事をする場合は…」といった記載がある。センターでもそれが適用されないか、市民自治推進課に確認中。

《11月29日（月）》

■コイン計数機の貸し出し

文化振興課の職員が、コイン計数機を借りに来所。今週いっぱいとのことで貸し出しをした。

《12月1日（水）》

■広報依頼の件

「千葉市マンション管理組合協議会」より依頼のあった「マンションのトピックス研修会（第3回）」の情報を、当ホームページに掲載。

■天井裏の空調工事の件

10月18日時点の工程表によると、昨日（11月30日）で空調工事は完了の予定となっていたが、工期が延び、12月10日頃の完了予定に変更となったことが判明した。

《12月2日（木）》

■広報依頼の件

「赤い羽根福祉基金」から依頼のあった「赤い羽根福祉基金2022年度新規事業助成の公募」の情報を、当ホームページに掲載。

1. 基本事項

《12月8日（水）》

■広報依頼の件

若葉区地域振興課より依頼のあった「令和4年度 若葉区地域活性化支援事業」の情報を、当ホームページに掲載。

《12月10日（金）》

■広報依頼の件

中央区地域振興課より依頼のあった「令和4年度 中央区地域活性化支援事業 みんなで創る中央区づくり」の情報を、当ホームページに掲載。

《12月16日（木）》

■広報依頼の件

美浜区地域振興課より、「令和4年度 美浜区地域活性化支援事業」の助成情報を、12/20 から掲載してほしいと依頼があったので、12/20 の午前9時からの公開予約をして対応。

《12月22日（水）》

■千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議に参加

標記会議の第1回（テーマ：災害時における市民活動団体の連携を考える）に、1名がオンライン参加した。

《12月28日（火）》

■天井裏の空調工事の件

空調工事の完了は12月10日頃の予定とのことだったが、その後、何も報告がないので市民自治推進課に連絡。担当課に確認をしていただいたところ、工事は完了していることが判明した。

《1月6日（木）》

■広報依頼の件

「洲崎福祉財団」より依頼のあった「令和3年度下期 障害児・者（含む難病）に対する自立支援活動への助成募集」の情報を、当ホームページに掲載。

《1月11日（火）》

■「施設のPR」の振り返り会議

事業 No. 24「施設のPR」の一環として出展をした「まちとつながるステーション in 千葉駅」（実証実験）の振り返り会議に出席。

1. 基本事項

《1月14日（金）》

■危機管理課・市民自治推進課との打合せ

標記の課の職員2名ずつが来所。「発災時における三者連携」の体制構築に向けての顔合わせ的な打合せを実施。

■市民自治推進課からの依頼（会議室・談話室の稼働率算出）に対応

1/12にメールで依頼のあった標記の件について対応。メールで報告をした。

■会議室・談話室内での飲食について

市民自治推進課の確認もとれたので、会議室・談話室内での食事を条件付きで可能とする旨の案内を館内に貼り出し、ホームページも記事を掲載した。

《1月18日（火）》

■利用者用Wi-Fi機器を増設

利用者用のWi-Fi機器の2台目（au）を設置。なお2台目は、1台目の接続が切れた場合にパスワードをお知らせする運用とする。

《1月20日（木）》

■市民活動支援組織ネットワーク

千葉県が主催する、市民活動支援組織ネットワークの令和3年度第2回幹事会に出席。

■まん延防止等重点措置に関して

まん延防止等重点措置の適用（1/21～2/13）が決定したが、それに伴う、施設の開館時間の短縮等の新たな利用制限はないことを、市民自治推進課に確認した。

《1月21日（金）》

■防火対象物・防災管理点検実施

標記の点検を業者に委託して実施した。

■研修会参加

令和3年度第2回ボランティアセンター・市民活動支援センター合同研修会（テーマは災害時の三者連携）に参加。

《1月24日（月）》

■環境保全課からのアンケート周知依頼に対応

1/14に依頼のあった、環境保全課からの「水環境保全計画策定に係るアンケート調査」の周知依頼に対応。6分野のメーリングリストで発信をした。また、発信先の団体一覧も作成して送付した。

《2月1日（火）》

■広報依頼の件

『NHK厚生文化事業団「わかば基金」係』より依頼のあった「第34回 わかば基金」の助成情報を、当ホームページに掲載。

1. 基本事項

《2月4日（金）》

■国立教育政策研究所からの依頼対応

国立教育政策研究所から、千葉県教育庁、市民自治推進課を經由して依頼のあった、「体験活動ボランティア活動支援センター設置状況等について」の調査に本日対応をした。（メールで市民自治推進課宛てに回答。）

《2月14日（月）》

■まん延防止等重点措置の延長に関して

まん延防止等重点措置が3月6日まで延長になったが、センターの利用制限の内容等に変更はないことを市民自治推進課に確認。これを受けて、HPへの掲載、館内への掲示の貼り出しなどの周知を行った。

《2月15日（火）》

■「チーム千葉ボランティアネットワーク」のリニューアルに関して

「ちばぼら」が年度末で閉鎖され、一部の機能が「チーム千葉ボランティアネットワーク」に統合されてリニューアルオープンする予定で準備が進められているが、そのテストサイトができたので意見がほしい旨、市民自治推進課より依頼があった件について、本日、意見をまとめて回答した。

《2月21日（月）》

■電気設備定期点検に伴う停電

2月20日23時から本日7時まで、ビルの電気設備定期点検に伴う停電（送電停止）あり。対応として、停電の前に電気機器類のプラグをコンセントから取り外しておいた。

■千葉県主催の会議に参加

令和3年度第2回千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議に参加した。

《2月24日（木）》

■広報依頼の件

「千葉市マンション管理組合協議会」より依頼のあった「マンションの建築・設備問題研修会」の情報を、当ホームページに掲載。

《3月3日（木）》

■総合消防訓練に参加

三井不動産ビルマネジメントより案内のあった、総合消防訓練に参加。コロナ禍のため、救護処置の実演を見学するのみの内容であった。なお、訓練の通知文書は2月28日付けであり、3月1日の朝に郵便受けに投函されていたものである。

1. 基本事項

《3月7日（月）》

■まん延防止等重点措置の延長に関して

まん延防止等重点措置が3月21日まで延長になったが、センターの利用制限の内容等に変更はないことを市民自治推進課に確認。HPへの掲載、館内への掲示の貼り出しなどの周知を行った。

■広報依頼の件

「ちばのWA地域づくり基金」より情報周知依頼のあった「災害支援基金第4次公募」と「事業指定助成プログラム公募」の情報を当ホームページに掲載。

《3月14日（月）》

■消費者教育特別展示での資料配架について（市民自治推進課から照会）

消費生活センター主催で、5/13～5/25に生涯学習センターで開催される消費者教育特別展示という催しで、センターの資料を配架するかの照会があり、例年通りリーフレットと最新のニュースレターを配架予定と回答。なお新年度になるため、リーフレットの内容は改訂する必要があるが、改訂作業が間に合うかどうかは未定である。

《3月17日（木）》

■地震の影響について

3月16日の閉館後に発生した地震の影響がないか、館内を巡回して確認したが、大きな落下物や転倒物はなし。また、電気系統にも異常はなかった。また、三井ビル不動産マネジメントからメールで「エレベーターが一時的に停止していたが復旧済み」である旨と、「何か気づいた点があれば防災センターまで連絡ください」といった内容の自動送信メールが送られてきた。

《3月19日（土）》

■まん延防止等重点措置の解除に伴う施設の利用制限について

まん延防止等重点措置が3/21で解除されるが、3/22以降も現状の利用制限が継続されるという旨の連絡メールが、市民自治推進課から昨日のうちに受信。HPへの掲載、館内への掲示の貼り出しなどの周知を行った。

《3月28日（月）》

■センターの入口外側（共用部）の使用について

センターの入口外側にパンフレットラックやボード（フェスタで配架した団体資料を掲示している）を置いているが、その場所を使用するための許可の期限が3月31日までとなっている。市民自治推進課に確認をしたところ、先日、文化振興課に4月1日から5年間の使用許可の申請を出したとのことであった。

《3月29日（火）》

■広報依頼の件

「千葉市療育センターふれあいの家」より依頼のあった「要約筆記講習会」の情報を当ホームページに掲載。

(5) 取組目標に対する結果の報告

成果指標	設定した目標	実績値	達成率(%)
会議室利用件数(年間)	760	537	70.7
談話室利用件数(年間)	710	550	77.5
登録団体数(年度末時点での値)	740	777	105.0
施設利用者数(年間)	18,800	8,357	44.5
ボランティア募集情報掲出数(年間)	480	480	100.0
“まちなかボランティア”養成人数(年間)	30	2	6.7
専門家による個別相談件数(年間)	100	28	28.0
総合達成率(%)	—	—	61.8

事業計画書に定めた成果指標と設定した目標、およびそれに対する実績値は上記のとおり。
以下、分析等について記す。

- ・2021年度は、大半の期間において、まん延防止等重点措置の適用や、緊急事態宣言の発出がされていた。これを受けて当センターでは、会議室等の利用定員を従来の半数程度にしたり、閉館時間を1時間早めて20時としたりといった制限を行った。活動の自粛を続けていた団体も多く、これらが上記の実績値に影響をしたと考えられる。
- ・「会議室利用件数」と「談話室利用件数」の達成率は、いずれも100%に達していないが、前年度よりは向上した。少人数でも会議室や談話室を利用する団体が増えており、特に談話室については、前年度と比較して、達成率が約23%向上した。
- ・「登録団体数」については、達成率は100%を上回った。コロナ禍が続いているが、登録を抹消する団体よりも、新規に登録をする団体の数が多く、登録団体数は増加傾向である。
- ・「施設利用者数」の達成率は、前年度より約6%向上したものの、50%を下回った。前述のような利用制限の影響の他、活動を再開した団体も、オンラインの活用により当センターを利用する機会はあまり増えていないようである。また、オンライン方式で会議等を開催する団体も増え、例えば来館した人は1名で、他のメンバーは全員リモートでオンライン会議に参加したというようなケースも見られる。
- ・「ボランティア募集情報掲出数」は、コロナ禍で募集を休止しているのが掲出を見合わせたいという団体もあったが、それでも達成率はちょうど100%となった。
- ・“まちなかボランティア”養成人数は、前年度と同様、新型コロナウイルス対策のため、人と会話をすることが必須となる実習について、予定していた回数を実施できなかったことや、受講生も実習への参加を躊躇する人が多かったと推察され、達成率は非常に低くなってしまった。
- ・「専門家による個別相談件数」は、対面のみでなくオンライン方式での相談にも可能な限り対応する方針としたが、申し込み件数は前年度とほぼ同数で、達成率も低くなってしまった。

(1) 使用許可受付関係

- ・使用許可の件数は1.基本事項の「(2) 施設利用実績表」を参照。
- ・使用不許可処分の件数は0件。

(2) 利用者要望・苦情への対応等

- ・「ご意見箱」を常時設置し、利用者からの要望や苦情の収集を行った。投稿があった場合は対応を検討し、必要に応じて対応内容・方針について、館内に掲示をすることとしている。（「ご意見箱」への投稿は、今年度は1件もなかった。）

(3) 利用者へのサービス向上、利用率向上の工夫

●4月

- ・新年度で代表者が変更になった団体も多いので、当センターの施設・設備の予約方法等をまとめた「利用案内」を、施設入口付近に目立つように配架したり、広く利用者の目に届くような工夫をしたりした。

●5月

- ・登録団体が当センター内において会議等の活動をしている時に、メンバーに対して施設の説明・紹介をしてほしい、あるいは会議にオブザーバー参加して助言をしてほしい、といった依頼が複数あった。通常業務に支障が出ない範囲で依頼に応えるなどし、サービス向上に努めている。

●6月

- ・施設利用者用のWi-Fiの機器を交換した。既存のものより回線は増強され、概ね10台が同時に接続できるようになり、サービスの向上が図られた。ただし無線であることや、周辺で同じ会社のサービスを使って接続している人が多くなったりすると、速度が低下してしまうことはある。

●7月

- ・「ちばさぼ通信」のホームページへの掲載方法に関して、今まで1頁ごとに1つのファイル、つまり4つのファイルをアップロードしていたが、7月号からはこれに加え、4頁を1つのファイルにまとめたものもアップロードするようにした。

●8月

- ・緊急事態宣言の発令が継続されており、積極的な来館を促すことが難しいため、facebookページやメーリングリストによる情報発信の頻度を上げている。特に、当センター主催の事業に限らず、市の事業で登録団体に有益な情報の発信に努めている。

2. 施設使用許可業務

●9月

- ・緊急事態宣言の発令が継続されており、利用者が安心して来館できるよう、また、快適に滞在できるよう、館内の消毒作業を引き続き十分に行っている。
- ・感染予防の注意をお願いする掲示物を、これまでよりも目立つものにした。
- ・来館者に健康チェックを行っていただくことや、連絡先の把握のため、会議室等の利用団体に対して「利用団体確認票」の記入・提出を、個人での来館者に対して「来館者カード」の記入・提出をお願いしている。

●10月

- ・緊急事態宣言が終了し、開館時間が従来どおり 21 時となるなど、利用制限の一部は緩和されたが、引き続き感染症対策の意味で来館者に注意を促す掲示を貼り出すとともに、健康チェックを行っていただくことを目的とした「利用団体確認票」等の提出をお願いしている。

●11月

- ・市民活動フェスタの「資料の配架」は 11 月 20 日・21 日の 2 日間のみの実施だったが、配架資料の余部を、センター入口付近のパネルにまとめて配架している。

●12月

- ・市民活動フェスタ 2021 の特設ウェブサイトは、開催期間が終了した 12 月 5 日で一旦閉鎖したが、動画を見やすいように再編集をしたり、団体紹介ページの再公開についての確認をしたりした後、12 月 27 日から再公開をしている。また引き続き、11 月 20 日・21 日に実施した「資料の配架」で余った団体の資料を、センター入口付近のパネルにまとめて配架している。

●1月

- ・薬局の「ウエルシア イオンタウン幕張西店」の担当者となつなかりができ、「ちばさぼ通信」や、主催事業のチラシ、当センターのリーフレット等を配架いただいている。

●2月

- ・講座やイベントの開催方式について、可能な限り、オンラインと対面の両方を組み合わせた“ハイブリッド方式”とし、多くの方が参加できるように間口を広げている。

●3月

- ・3 月は、次年度のロッカー利用申請の受付期間であるので、ロッカーの荷物の出し入れのために来所した団体には声かけをし、次年度もロッカーの利用予定があれば、申請書を提出いただくように案内をした。

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

(1) 受託事業報告

1	事業名	市民公益活動関連情報資料の収集・提供
実施概要		市民公益活動関連の各種情報や資料を収集し、広く来館者に対して掲示・設置する。
実施報告		<p>○随時収集・提供 年間 743 件の情報を館内にて掲示 ○助成金情報一覧を作成し提供:3 回 4 月、6 月、12 月</p> <p>【成果・課題・特記事項】 ・新型コロナウイルスの影響が一時的に緩和する傾向が見られた時期もあったためか、収集・提供できた情報の件数は、前年度比で約 8%増加と、若干の復調が見られた。</p>
2	事業名	ボランティア情報の収集・管理・提供
実施概要		ボランティア活動をしようとする市民に対し、ボランティア関連の情報を収集し、館内への掲示などの方法により提供する。
実施報告		<p>○年間掲示数:480 件</p> <p>【成果・課題・特記事項】 ・「ボランティア募集カード」の依頼元に、掲載内容の変更、中止などがないかの確認作業を行い、データを更新した。 ・コロナ禍でボランティア募集を休止している受入先が多く、掲示の件数は前年度よりも減少した。</p>
3	事業名	図書の収集・管理・活用
実施概要		広く来館者の利用を想定し、市民公益活動に関する図書を収集し、館内に配架する。
実施報告		<p>○新規購入図書:8冊 ※内、定期購読情報誌 1 種(隔月発行)</p> <p>【成果・課題・特記事項】 ・開催講座の講師の著作や、SDGs、オンラインコミュニケーションツールに関する図書などを購入。 ・ちばさぼ通信に、図書の紹介記事を掲載した。</p>
4	事業名	情報誌の発行
実施概要		広く市民を対象に、情報誌（ニュースレター）を発行する。
実施報告		<p>○情報誌「ちばさぼ通信」発行:6回 5月号:4/26、7月号:6/29、9月号:8/30、11月号:10/28、1月号:12/28、3月号:3/2</p> <p>【成果・課題・特記事項】 ・A4 判 4 頁、フルカラー刷りで、年 6 回奇数月月上旬に発行。 ・登録団体の紹介や、センターからのお知らせなどを中心に掲載。より読みやすくするために、写真の量を多めにした構成内容とした。 ・発行部数は、新型コロナウイルスの影響で対面方式の事業が少なくなっているため 3300 部。送付先は 933 ヶ所(3 月号)。 ・ホームページには、過去の「ちばさぼ通信」を電子データで全て掲載。</p>

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

5	事業名	メールマガジンの配信
	実施概要	登録団体及び希望する個人を対象に、メールマガジンの発行（電子メールによる情報提供）を行う。
	実施報告	<p>○「ちばさぽ NEWS」(メール版)発行:24回 ○登録数:825件(3月末時点) 4/15、4/28、5/12、5/29、6/8、6/22、7/13、7/29、8/12、8/26、9/11、9/28、 10/20、10/31、11/17、11/27、12/14、12/23、1/11、1/27、2/15、2/24、3/9、3/31</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり毎月2回、計24回の発信を行うことができた。 ・コロナ禍が続いており、団体の活動告知は少なくなったが、公的機関の行う講座等の情報や助成情報など、活動に役立つような記事を掲載することができた。
6	事業名	ホームページの運営
	実施概要	広く市民を対象に、センターの施設紹介を主目的とするホームページを継続して運営する。
	実施報告	<p>○通年実施</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターの全ての事業を網羅し、常時発信。 ・新型コロナウイルスの影響による閉館時刻の変更や利用制限などについても、迅速に掲載の対応を実施。 ・前年度に引き続き、千葉市民活動フェスタのオンラインコンテンツに対応したサイトを構築。

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

7	事業名	市民活動フェスタの開催
実施概要	<p>既に市民公益活動に関わっている人・これから始めようとする人・今は関心のない人などあらゆる市民の他、企業なども含めた幅広い層を対象に、市民公益活動の周知、参加促進、交流などを目的としたイベントを開催する。</p>	
実施報告	<p>○実行委員会：11回開催 実施日：7/6、7/20、8/10、8/17、9/7、9/21、10/5、10/19、11/2、11/16、12/14</p> <p>○参加団体説明会 実施日：9/19(対面・オンライン)、9/21(当ホームページにて動画公開)</p> <p>○「千葉市民活動フェスタ2021」実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン：特設ウェブサイト(11/7～12/5 公開、12/27～再公開) ・オフライン <ul style="list-style-type: none"> 団体紹介動画撮影会：千葉市民活動支援センター(10/31)、千葉市文化センタースタジオ1(11/6) 資料の配架：きぼーるアトリウム(11/20～21) インターネット放送局(ちばさぼTV)：きぼーるアトリウム(11/21) ・出展団体施設総数：53(登録団体：47、関係団体施設：6) ・来場者 <ul style="list-style-type: none"> オンライン <ul style="list-style-type: none"> 特設ウェブサイト総ページビュー：9055(11/7～12/5) オフライン <ul style="list-style-type: none"> 資料の配架：450(資料及び景品の配布数による) <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年通り実行委員を募集し、上記のとおり7月から12月にかけて、合計11回の実行委員会を開催。前年度に引き続き、オンラインと対面のどちらでも参加できるハイブリッド方式で実施した。 ・コロナ禍ということを考慮し、フェスタ自体は前年度と同様にオンラインを主軸に展開。ホームページによる団体紹介を中心としたプログラムを実施した。 ・参加団体の紹介は、オンラインでの発信を推奨し、動画の作成などをサポートした。 ・一般の方が対面で閲覧できる企画は、11月20日・21日の「資料の配架」のみ。ライブでも後日でも動画などの視聴ができる「インターネット放送局・ちばさぼTV」に、「オンラインDEマッチング」や「市民活動交流サロン」を加えた事業を展開。 ・広報活動に関しては、まだ検討の余地があると思われる。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

8	事業名	市民活動交流サロン
実施概要		登録団体や市民活動に関心のある個人・企業・学生など、様々な立場の人を対象にした、サロン風の集まり（交流会）を開催する。
実施報告		<p>○第1回:センター長対談 part3～いのち・くらし～ ・場所:オンライン(Zoom) ・実施日:5/22</p> <p>○第2回:東京 2020 大会を終えて～未来につながるレガシー ・場所:市民活動フェスタ(ちばさぼ TV)内にて ・実施日:11/21</p> <p>○第3回:市民活動“大交流”サロン これからの夢を語り合おう! ・場所:千葉市民活動支援センター 会議室、オンライン(Zoom) ・実施日:2/12</p> <p>※参加人数について:オンライン方式、または複合方式におけるオンラインでの参加については、申し込みなしでの参加や、途中からの参加(途中での退出)、録画の視聴のみも可としたため、人数の把握が困難である。なお、第3回において、会議室で対面参加した人数は3名であった。</p> <p>【成果・課題・特記事項】 ・3回それぞれ異なる方式で開催した。具体的には、第1回は完全オンライン(ゲストも参加者もリモート)、第2回はゲストは全員会場に集合してオンライン配信、第3回は対面とオンラインのハイブリッド方式とした。 ・交流が主目的なので、本来はリアルで参加者同士が(あるいは参加者とゲストが)出会うことが望ましいが、オンラインを活用すると、広く発信ができるというメリットもあることを認識した。</p>

9	事業名	千葉市を元気にするフォーラム
実施概要		一般の市民・団体などを対象に、千葉市を元気にし、より魅力的にすることをめざして、フォーラムを実施する。行政の参加も検討し、市民との協働をはかる。
実施報告		<p>○タイトル:住みたい千葉をめざして～環境・格差・働き方等から～ ・場所:オンライン(Zoom) ・実施日:2/27 ・参加者:18名</p> <p>【成果・課題・特記事項】 ・Zoom ミーティングにより実施。 ・基調講演者を外部から招いた他、話題提供者として、登録団体からは「環境」「格差社会」「働き方」という3つの分野で活動をしている方を招いた。質疑の活発なフォーラムとなった。</p>

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

10	事業名	まちなかボランティア養成講座
実施概要	東京オリンピック・パラリンピック開催決定を契機として、ボランティアに関心を持つ層は増えたが、実際に踏み出せない人も多い。こうした「潜在的ボランティア」を顕在化するための講座。基礎知識と実技体験により、誰もが「お手伝いしましょうか」と声をかけられる街づくりを推進する。	
実施報告	<p>○講義</p> <p>第1回(通算 17 回)講義 実施日:5/29 ・参加者:4 名 ・場所:YSビル 7階</p> <p>第2回(通算 18 回)講義 実施日:10/30 ・参加者:4 名 ・場所:千葉市土気あすみが丘プラザ 3階 会議室1</p> <p>第3回(通算 19 回)講義 実施日:12/5 ・参加者:3 名 ・場所:高洲コミュニティセンター 2階 講習室1</p> <p>第4回(通算 20 回)講義 実施日:2/6 ・参加者:10 名 ・場所:蘇我コミュニティセンター 3階 講習室2・3</p> <p>○実習</p> <p>第1回(通算 31 回)実習 実施日:11/13(中止) ・場所:中央公園(「第5回千葉ハワイアンマーケット2021(1日目)」会場)</p> <p>第2回(通算 32 回)実習 実施日:11/14 ・参加者:2 名 ・場所:中央公園(「第5回千葉ハワイアンマーケット2021(2日目)」会場)</p> <p>第3回(通算 33 回)実習 実施日:11/28 ・参加者:2 名 ・場所:千葉銀座通り(「いい街ちばフリーマーケット」会場)</p> <p>第4回(通算 34 回)実習 実施日:3/27 ・参加者:3 名 ・場所:千葉銀座通り(「いい街ちばフリーマーケット」会場)</p> <p>○2021 年度修了者数:2 名(2017 年度からの累積修了者数:80 名)</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終年度も予定どおり 4 回の講義を実施できた。しかしながらコロナの影響もあってか参加数は大きく減少。逆に参加者にとっては、講師への質問なども十分にできるというメリットも見いだせた。 ・地域イベントの中止が相次いだため、実習が 4 回しか設定できず、今年度は修了者が大幅に減っている。次年度も機会を作って実習を開催し、未修了者への対応を行う予定である。 	

11	事業名	ファシリテーター養成講座
実施概要	市民団体・グループなどを含む一般の市民を対象に、会議や話し合いを円滑にするためのファシリテーターの技能を学ぶ講座を開催する。	
実施報告	<p>○タイトル:ファシリテーター養成講座</p> <p>・場所:オンライン(Zoom)</p> <p>・実施日:5/17 ・参加者:28 名</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Zoom を利用したオンライン方式のみの講座。 ・全国的に実績のある講師を招いて実施。講師の希望で時間を延長して「交流会」も開催。受講者の満足度が高い講座となった。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

12	事業名	地域コーディネーター養成講座
実施概要	地域において調整役を担っている方やこれから調整役になりたいと考えている方など、コミュニティづくりに関心のあるあらゆる人を対象に、地域の課題解決や活性化に向けて調整を進めていく“地域コーディネーター”を養成する講座を開催する。	
実施報告	<p>○タイトル:コミュニティづくりコーディネート講座「地域連携でまちづくり～地縁組織と志縁組織～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン(Zoom)および千葉市民活動支援センター会議室 ・実施日:3/21 ・参加者:19名(オンライン11名、対面8名) <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と同じ講師に依頼をしたが、町内自治会との連携をテーマに盛り込むなどの工夫をした。 ・対面とオンラインのハイブリッド方式で行ったが、対面での参加者は、これまでのハイブリッド方式の講座で最多の8名であった。テーマが関係しているかもしれないが、講座の参加は、対面のニーズもあることが確認できた。 	

13	事業名	市民活動ステップアップ講座
実施概要	市民活動団体の組織運営に従事している（またはこれから従事しようとしている）人や、関心のある人を対象に、組織運営に必要な、専門性のある分野の知識やスキルを身につけることを目的とした講座を開催する。	
実施報告	<p>○第1回タイトル:NPO法人のイロハを学ぼう！～知れば広がる、市民活動の可能性～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン(Zoom)および千葉市民活動支援センター会議室 ・実施日:6/6 ・参加者:13名(オンライン8名、対面5名) <p>○第2回タイトル:地域づくりの視点からSDGsを学ぼう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン(Zoom)および千葉市民活動支援センター会議室 ・実施日:10/9 ・参加者:16名(オンライン13名、対面3名) <p>○第3回タイトル:団体紹介リーフレットをつくろう！見直そう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン(Zoom)および千葉市民活動支援センター会議室 ・実施日:2/23 ・参加者:14名(オンライン10名、対面4名) <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3回開催した講座のすべてを、対面とオンラインのハイブリッド方式で行った。各回で3～5名(全参加者のうち2～4割)の対面参加があった。 ・第2回と第3回の講師は初めての依頼で、かつ、いずれも登録団体に所属している方から人選した。テーマも初めて設定したものであったが、アンケート結果は好評であった。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

14	事業名	話し方実践講座／プレゼンテーション講座
実施概要	市民団体・グループなどを含む一般の市民を対象に、市民活動や地域活動を行う上で必要となる「話し方講座」と、プレゼンテーションの方法を学ぶ「プレゼンテーション講座」を開催する。	
実施報告	<p>○話し方実践講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所: オンライン (Zoom) ・実施日: 11/29 ・参加者: 22 名 <p>○プレゼンテーション講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所: オンライン (Zoom) ・実施日: 6/21 ・参加者: 24 名 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話し方実践講座」は、ビジネスでも活躍の講師であったが、市民活動にも理解があり、充実した資料、平易な説明で、参加者も楽しく実践を行った。 ・「プレゼンテーション講座」は上記と同じ講師に依頼した。ワークセッションを3回実施し、実践を盛り込んだ内容とすることができた。 	

15	事業名	ボランティア・市民活動マッチングプログラム
実施概要	ボランティアやNPOなどの市民活動に参加したい人（希望者）と、そうした方を受け入れる市民活動団体（受入団体）とをマッチングするため、両者が直接顔を合わせる機会（マッチングイベント）を設けるなどして、活動体験に結びつけることをねらいとした事業。受入団体の紹介資料も作成する。	
実施報告	<p>○マッチングイベント「オンライン DE マッチング」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所: 市民活動フェスタ(ちばさぽ TV)内にて ・実施日: 11/21 <p>○「市民活動マッチングカタログ2021」発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行日: 7/26 ・発行部数: 1,000 部 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に企画をした「市民活動マッチングカタログ」の作成を初めて行った。完成した冊子は公共施設等に配架を依頼したが、在庫がなくなったので追加してもらえるか？といった問い合わせもあるなど、好評だった。 ・コロナ禍で、希望者と受入団体が直接顔を合わせる場を設けることはできなかったが、カタログに掲載されている6団体にオンライン上で団体紹介をしていただく「マッチングイベント」を、市民活動フェスタ内で行った。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

16	事業名	サポーターの募集・育成
実施概要	ボランティア活動をしたい人を対象に、センターの事業のサポートなどの活動をしていただくボランティア（呼称：センターサポーター）を募集、活動の場を提供する。	
実施報告	<p>○コロナ禍のため活動休止</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、サポーターへセンターの事業でのボランティア活動の呼びかけができなかった。 ・センターが主催する、対面参加が可能な講座の案内をした他、年度末には挨拶のメールを送り、来年度につなげた。 	

17	事業名	多様な主体との連携づくり
実施概要	市民活動団体の活動がより活性化するよう、またよりよい地域社会づくりが進むよう、センターとして、学校や企業など、多様な主体との連携を進める取組（日常的な交流や意見交換会など）を行う。	
実施報告	<p>○千葉県国家戦略特区推進課との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標記の課が主管のシェアリングエコノミー推進事業に、広報面での協力（ホームページやメルマガへの掲載）と、オンラインセミナーの運営協力（当センター談話室での視聴会の実施）を行った。 <p>○千葉県県民生活・文化課との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標記の課より「地域ボランティア活動環境整備事業」への協力依頼あり。ボランティアの受け入れを積極的に行っている団体を紹介するなどした。 <p>○ウエルシア薬局との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ウエルシア イオンタウン幕張西店」に、ちばさぼ通信等の資料を配架。 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で連携の動きを積極的に起こすことは難しかったが、所管課以外の行政と連携した取組みを行うなどした。 	

18	事業名	ボランティア募集情報提供施設との連携づくり
実施概要	ボランティア活動を活性化させることを目的に、千葉市でボランティア募集情報の提供をしている公的施設と当センターとの間で、日常的な情報交換や事業協力をを行う。	
実施報告	<p>○千葉市生涯学習センターとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉市生涯学習センターのイベント「春からはじめるボランティア！身近な5施設活用術」(5/16開催)にて、当センターの事業紹介等を実施。 ・生涯学習ボランティアフェア2021にて展示。 期間：11/20(土)～11/28(日) <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターとは、リアル開催のイベントにおいて事業協力をを行った。その他の施設とは、日常的な情報交換などのメールや電話でのやりとりが中心であったが、緊密な連携関係は持続した。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

19	事業名	市民活動伝言板の設置
実施概要	市民活動団体が、団体の活動やボランティア等に関する情報や伝言を掲示することができ、来館者に閲覧してもらえる「伝言板」を、館内に設置する。掲示できるものについてはルールを定める。	
実施報告	<p>○通年実施</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界専門の新聞や、フリーペーパー等に団体の活動が掲載された記事を、許可を得て、伝言板に貼り出した。団体には喜ばれた。 	

20	事業名	メーリングリストの運営
実施概要	登録団体間の交流や情報交換を促進するため、登録団体自らが自由に発信することができるメーリングリストの管理運営をする。	
実施報告	<p>○通年実施</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6つの分野、6つの区のメーリングリスト(ML)の管理・運営を通年でやっている。 ・新規団体登録時に ML への加入の確認をしているが、その後の追加や削除の希望にも対応している。 	

21	事業名	複数団体の連携の推進・支援
実施概要	複数の登録団体等が連携し、共通のテーマのもとに自主的に活動をする「活動部会」と呼ぶ枠組みを設置。部会の立ち上げを推進するとともに、広報面や連携の推進等の支援をセンターが行う。	
実施報告	<p>○以下の5つの部会が活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちばの空襲と戦争体験を語り継ぐ ・フェアトレードちば ・「オオカミとオコゼ姫の恋」作成委員会 ・ウエルフェスタ実行委員会 ・『イントレランスの時代』を観る会 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5つの部会から申請があり、承認をした。うち3つは毎年度(継続して)実施をしている実績のある団体で、2つは新規の部会であった。 ・チラシを「ちばさぼ通信」発送の際に無料で同封した他、センターのHPに記事を掲載するなどの広報支援を行った。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

22	事業名	日常的な相談
実施概要	広く一般市民や市民活動団体などからの市民公益活動に関する相談に、センターの開館時間中、随時対応するもの。	
実施報告	<p>○実施件数:139 件</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数は前年度比で6件減少したが、割合で見ると約4%の微減であった。 ・大半は市民(個人や団体)からの相談だが、行政の市民活動担当課や、中間支援施設からの相談や質問も寄せられている。 	

23	事業名	専門家による個別相談
実施概要	市民公益活動を行っている個人や団体、これから始めようとする市民、社会貢献活動に関心のある企業など幅広い層を対象に、市民公益活動に関する専門的なテーマを設定し、予約制で専門家が対応する個別相談を実施する。	
実施報告	<p>○実施件数:28 件(内訳は下記の通り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税理士:10 件 ・行政書士:2 件 ・NPO運営・市民活動入門:13 件 ・インターネット活用:2 件 ・広報:1 件 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数は、前年度とほぼ同数であった。 ・特に NPO 運営・市民活動入門相談については、申込者の希望があれば、相談員と調整の上、設定されている日時以外でも実施した。 	

24	事業名	施設の PR
実施概要	広く一般市民(特に市民公益活動に今は関心がない人)やセンターを初めて利用する人を対象に、リーフレット等のセンターを紹介するツールを作成、配布し、施設を PR する。これらのツールを用いてセンター外での周知活動も行い、施設の利用促進を図る。	
実施報告	<p>○「いい街ちばフリーマーケット」にて、通信、チラシの配架</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:千葉銀座通り及びその周辺 ・実施日:4/25、5/23、7/25、11/28、12/26、3/27 <p>○JR千葉駅にて通信、チラシの配架</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日:12/1、12/8 <p>○京成バスの車内(千葉営業所内の51台)に施設案内リーフレットを20部ずつ配架してもらえることになり、先方にリーフレットを納めた。</p> <p>○「千葉市成人を祝う会」でセンターの紹介チラシを配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日:1/10 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民まつりは6区すべてが中止、いい街ちばフリーマーケットも中止が目立つ1年となり、センターの外に出てのPRの機会は極端に減少した。 ・初の取り組みとして、JR千葉駅の構内で開催された実証実験「まちとつながるステーション」に参加。当センターに全く縁のなかった人に、チラシ配布や相談対応などの機会を得ることができた。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

25	事業名	登録団体の企画支援
実施概要	団体の活動の活性化を目的に、登録団体がセンターを会場にして行う講座や相談等の企画を募集。公益性が高いかなどの基準で審査を行い、採択したものを「ちばさぼセミナー」と認定。センターは、会議室の優先貸し出しや、広報面の支援を行うもの。	
実施報告	<p>1団体の企画を「ちばさぼセミナー」として実施</p> <p>○実施団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県障害者ドローン協会 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、ICTに関する企画(講座や相談など)を対象として9月に募集を行った。 ・応募は1団体のみであったが認定をし、広報面での支援などを行った。 	
26	事業名	セルフカフェコーナーの設置
実施概要	施設利用者を対象に、コーヒー、お茶等の飲料を、無料で、セルフサービスにより提供する。	
実施報告	<p>○コロナ禍のため設置中止</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、昨年度と同様に、年間を通して休止とした。 	
27	事業名	シニア世代の地域活動促進事業
実施概要	シニア世代を対象に、地域活動(ボランティアやNPO・町内自治会活動など)への参加を促進するための講座を実施する。またシニアを対象とした施設との連携も図る。	
実施報告	<p>○講座</p> <p>タイトル:シニア世代の地域活動促進セミナー「1階づくりから楽しむ“まちづくり”@千葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン(Zoom) ・実施日:1/29 ・参加者:40名 <p>○シニア対象施設との連携</p> <p>千葉県生涯現役応援センターのセミナー「シニアから始めるボランティア相談会(8/18)」に協力。</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座は、Zoomを利用したオンライン方式で実施。40名の参加者を集め、講義の他にワークショップも行ったが、参加者の熱意が高かった。 ・講座以外では、生涯現役応援センターと引き続き連携をとり、情報交換や相談者の紹介を行うなどした。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

28	事業名	運営協議会の設置・運営
実施概要	センターを利用者にとって有益な施設とするため、利用者の立場から助言をいただく運営協議会を設置。センターは事務局として会の運営をする。委員は、登録団体の構成員から公募する。	
実施報告	<p>○運営協議会(定例会):5回実施 実施日:7/15、9/16、11/18、1/20、3/17</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7名の委員により運営協議会を構成し、年間5回の会議(定例会)を開催した。 ・コロナ対策として、会議は毎回、対面とオンラインのハイブリッド方式で開催した。 ・会議の内容を踏まえて、年度末には、千葉市への提言書をまとめて提出した。 	

29	事業名	「NPO 法人を目指す方のための説明会」参加申込受付業務
実施概要	千葉市・千葉県が主催する「NPO 法人を目指す方のための説明会」の参加申込受付業務を行う。	
実施報告	<p>通年実施</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特にトラブルなく受付業務を遂行できた。 ・申込締切は開催日の前日だが、開催当日に参加の問合せやキャンセルの連絡がくることもあり、対応が必要となった。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

(2) 自主事業報告

30	事業名	情報誌への折り込み
実施概要	センターの情報誌を登録団体や公共施設等に郵送する際に、登録団体や企業などの印刷物を、有料で折り込む（同封する）サービスを実施する。本サービスの通称を「ちばさぼPR便」とする。	
実施報告	<p>○年間利用数:31件 A4サイズ以内の印刷物1種を1枚同封につき、登録団体は、2,000円。企業は、8,000円。公共施設等に5枚を追加で同封する場合は、プラス2,000円。</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数は昨年度と比べて約7割増加し、1号あたり平均で約5種類の印刷物の折り込みがあった。 ・今年度も、毎号利用いただいた団体があった。 	
31	事業名	印刷機の貸出
実施概要	登録団体に、感光式孔版印刷機を有料で貸し出すサービスを実施する。	
実施報告	<p>○利用件数:246件</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体登録のメリットとして印刷機が利用できる点を挙げる団体は多く、コロナ禍であっても、印刷機は資料作り等に活用されており、利用件数は前年度より1割強増加した。 	
32	事業名	カラーコピー機の設置
実施概要	登録団体に限らず、来館者が誰でも自由に利用できるカラーコピー機（有料）を設置する。	
実施報告	<p>通年実施 （モノクロコピー:全サイズ(A4、B4、A3)1枚10円、カラーコピー:A4サイズ1枚30円、B4・A3サイズ1枚50円。）</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入口近くに設置しており、当施設の来館者以外の利用もあるが、今年度はそうした方も多くはなかったようである。当センターも来館者が少なかったため、利用数は多くなってはいない。 	
33	事業名	飲料・消耗品類の販売
実施概要	施設利用者に対し、飲料や消耗品類を販売するサービスを実施する。	
実施報告	<p>通年実施 （飲料80円、A4白コピー用紙500枚400円、A3白コピー用紙500枚800円など。）</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、常温のボトル飲料(水とお茶)のみに限定して販売した。300ml前後の小型ボトルは女性や高齢者に好評である。 ・コピー用紙の販売は、印刷機を利用する団体にとって利便性が高いようで、2～3冊というまとまった量を購入する団体も見られる。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

34	事業名	ちばし地域づくり大学校講師の請負
実施概要	千葉市が主催する「ちばし地域づくり大学校」の受託者より依頼を受け、一部の講座の講師を担当するもの。	
実施報告	<p>○実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティア・地域活動の基礎」:9/14(火)、9/17(金)、9/18(土) ・「地域活動・NPO 概論」:9/18(土) ・「まち探検」:10/5(火)、10/8(金)、10/16(土) <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月から10月にかけて、計7回の講座を担当した。具体的には、「ボランティア・地域活動の基礎」を3回(基礎コース3クラス)、「まち探検」を3回(基礎コース3クラス)、「地域活動・NPO 概論」を1回(ステップアップコース)担当した。 	

4. 施設維持管理業務の実施報告

・保守管理業務

空調設備・消防設備・その他（殺虫・防鼠）は、年間契約で三井不動産株式会社に委託

・清掃業務

日常清掃は、スタッフが実施
定期ワックス塗布は、ファースト・ファシリティーズ株式会社に委託

・警備業務

ツインビル防災センターを通じて、三井不動産株式会社に委託
防火防災管理も同様に委託

・設備機器管理業務

定期エアコン点検・自動ドアは、三井不動産株式会社に委託

・備品等保守管理業務

印刷機に異常があれば、チバビジネス株式会社に連絡
カラーコピー機に異常があれば、株式会社文化堂に連絡

・修繕業務

修繕は実施せず

・その他

特段の報告事項はなし

(1) モニタリングの実施状況、分析結果

■ご意見箱 年間の投書は0件

■利用者アンケート（全2回）実施

●2021年度 第1回利用者アンケート

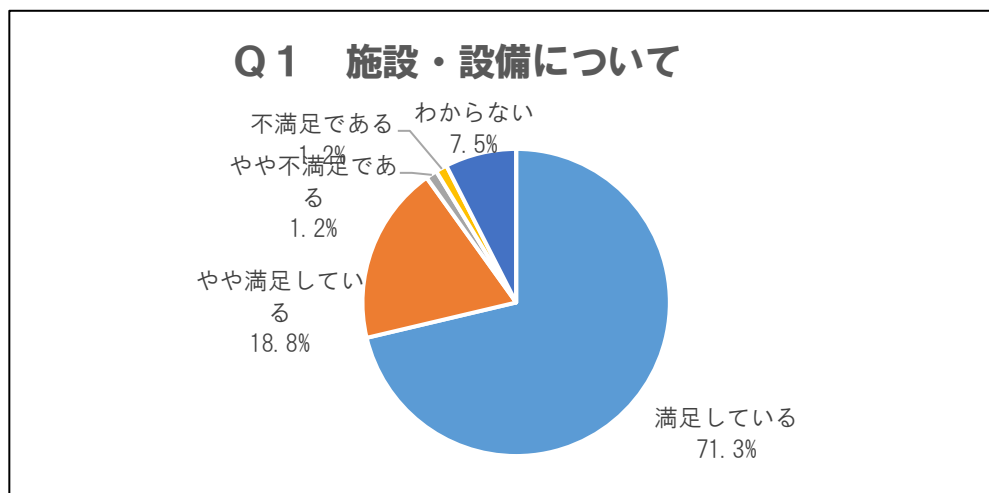
- ・実施期間：2021年11月1日～11月30日
- ・回答数：80件（うち、webからの回答は32件）

※登録団体へ郵送、センター来館者へ手渡し、ホームページ・facebookページへの掲載、メーリングリストへの発信により回答を依頼。また調査票にQRコードを載せて、スマートフォンからでも回答がしやすいようにした。

◇集計結果の報告

Q1. 千葉市民活動支援センター（以下、センター）の『施設・設備』についてお伺いします。
全体的な満足度について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。

※『施設・設備』とは、「会議室、談話室、印刷機、紙折機、ロッカー、活動サロン、セルフカフェコーナー」などを指します。



*自由記述の主な内容

[評価・謝辞等]

- ・自前の事務所を持たないので、会議室、印刷機などが使えることは大変ありがたい。
- ・18時以降も使えるので、仕事帰りに立ち寄れることができ便利。
- ・室内の清掃が行き届いていて、気持ちよく利用させてもらっている。
- ・会議室などを無料で利用できることが助かる。

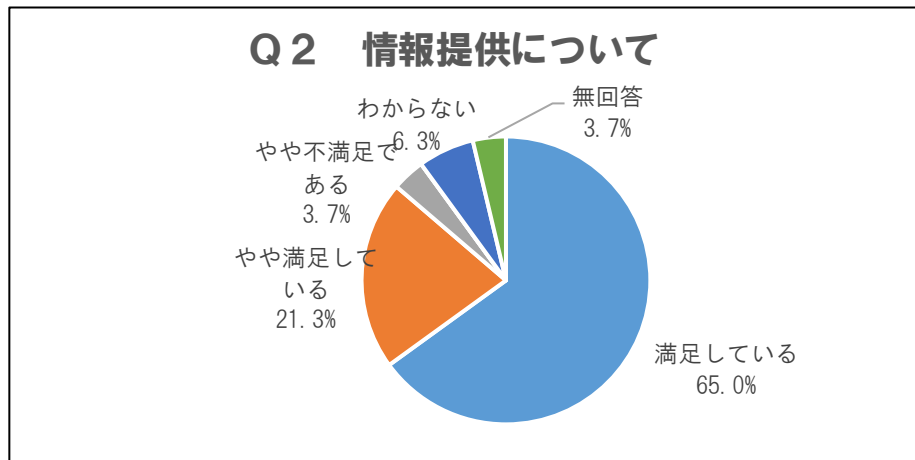
[意見・要望等]

- ・以前からもっと広いスペース（大会議室など）を望んでいるが、いつ実現するのだろうか？
- ・部屋の数少なく、予約が取りづらい。

5. 経営管理業務

Q2. センターの『情報提供』について、お伺いします。全体的な満足度について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。

※『情報提供』とは、「イベント・講座等のチラシの配架、ボランティア募集情報の掲示、ニュースレター（ちばさぼ通信）の発行、ホームページ、図書コーナー」などを指します。



* 自由記述の主な内容

[評価・謝辞等]

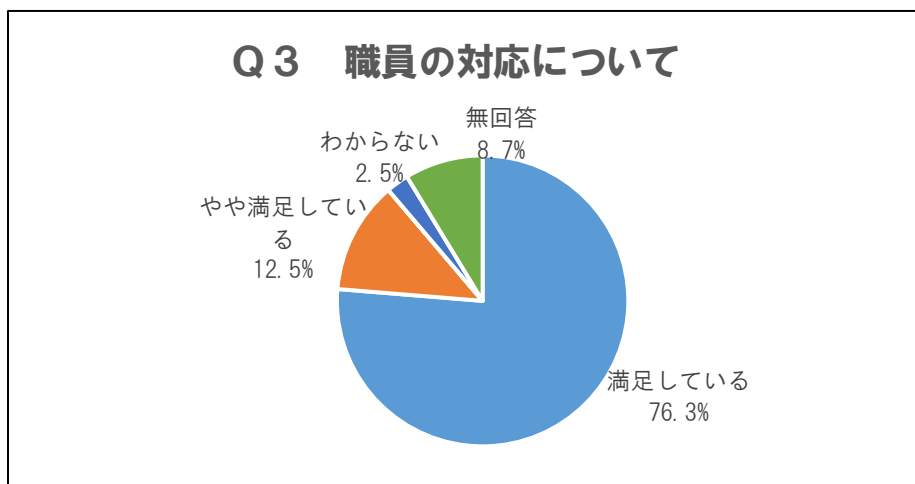
- ・ニュースレターは楽しみにしている。特に「登録団体活動紹介コーナー」は、他の団体の活動を知ることができるのがよい。
- ・メールでの情報提供や連絡が密にある。
- ・館内へのチラシ配架などの情報が多い。
- ・コロナ禍であっても、いつもと同じように情報提供がされていた。

[意見・要望等]

- ・同じ講座でも、お知らせが繰り返しあると助かる。

Q3. センターや職員の『対応』について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。

※電話・メールでの問合せへの対応、来館時の接客などについてお聞かせください。



*自由記述の主な内容

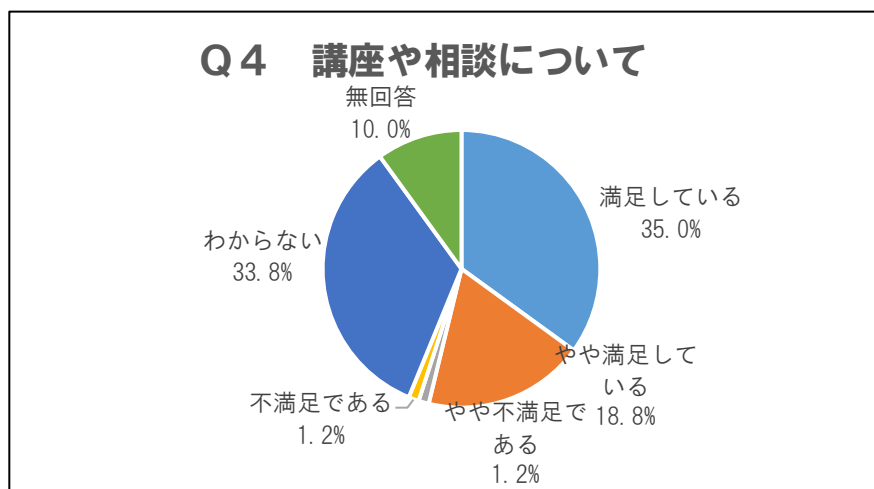
[評価・謝辞等]

- ・とても丁寧に対応してくれている。
- ・質問にも親切に答えてくれて、高齢者は助けられている。
- ・いつもにこやかに対応している。
- ・気持ちのよい、適切な対応に感謝している。

[意見・要望等]

- ・もう少し笑顔で対応してほしい。

Q4. センターの『講座や相談』について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。



*自由記述の主な内容

[評価・謝辞等]

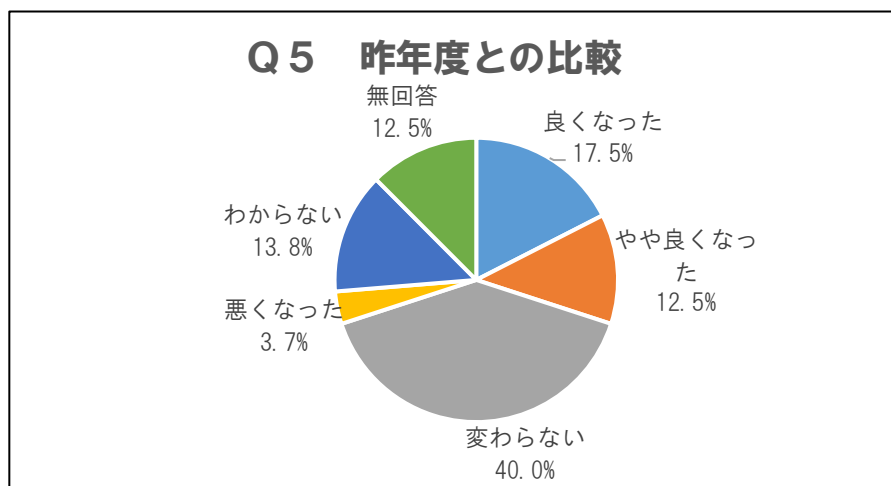
- ・会計など、専門家に相談をさせていただき助かった。
- ・参加してみたい、必要とされている講座が多いが、なかなか参加できないでいる。
- ・コロナ禍で対面による講座等が減ってしまっているようだが、仕方ないと思っている。

[意見・要望等]

- ・オンラインのみだったので、参加不可能なものがあった。
- ・毎年同様なテーマのものがあるが、同様なテーマでも内容がステップアップしたようなものがあればよいと思う。

5. 経営管理業務

Q5. 昨年度と今年度を比較して、どのようにお感じでしょうか。最も当てはまるもの1つに○をつけてください。ご意見・ご感想などもあわせてお聞かせください。



* 自由記述の主な内容

[評価・謝辞等]

- ・「変わらない」というと変化がないように受けとられるが、雰囲気よさなどが変わらず、満足している。
- ・コロナ禍であっても施設が利用できることや、情報が届けられるだけでもありがたい。
- ・コロナ対策（消毒液の設置や、密にならないような椅子の配置）もされていて安心。

[意見・要望等]

- ・コロナが落ち着いたら、セルフカフェコーナーの再開をお願いしたい。

Q6. その他の事業や管理・運営など全般について、ご意見・ご要望・ご感想をご記入ください。また、予約や貸出しの方法などについてもお聞かせください。

* 自由記述の主な内容

- ・ロッカーを利用させてもらっているが、脚が悪い私たちにとっては本当に感謝しかない。
- ・無料でこれだけ落ち着ける環境の場所を提供している施設は他にない。団体がこれまで活動できているのも、この施設があったからだと感謝している。
- ・マッチングカタログの作成や、市民活動フェスタでのオンライン配信など、登録団体が参画できる新しい取り組みを行っている点が良い。
- ・運営協議会の委員がもっと増えることを、特に女性の参加が増えることを望んでいる。
- ・講師などの依頼があれば、団体で引き受けることもできる。

5. 経営管理業務

◇アンケート結果の分析

- ・「施設・設備」については、「満足している」という回答が7割を超えた。最低限の設備が整っていることや、会議室等は無料で利用できることが評価されており、全体的な満足度は高いと言えそうである。ただし自由記述欄には、ほぼ毎回寄せられる意見として「もっと広いスペース（大会議室など）を望む」という声が複数寄せられている。
- ・「情報提供」については、「満足している」という回答が約3分の2を占め、「不満足である」という回答はなかった。自由記述欄には、ニュースレター「ちばさぼ通信」の登録団体活動紹介コーナーについて評価するコメントが多く寄せられている。なお、「情報を十分に活用できていない」「ほとんど見るができない」といった趣旨の記述も見られ、自分たちの活動で手一杯の団体もあるように推察される。
- ・職員の「対応」については、約4分の3から「満足している」という回答をいただき、「やや不満足である」と「不満足である」という回答はなかった。自由記述では「丁寧」「親切」といったキーワードを含んだコメントを多くいただいたが、気を緩めることなく、利用者に満足いただける対応を心がけるようにしたい。
- ・「講座や相談」については、「わからない」という回答と無回答を合わせると半数近くに達したが、それを除けば、約3分の2から「満足している」という回答をいただいた。自由記述からは、講座や相談に参加をしたことがない方も多いことや、オンライン方式のみだったので参加できなかった人がいることがわかった。
- ・昨年度との比較では、「変わらない」が4割と最多であった。「変わらないというのは、変わらず満足しているという意味」といった好意的な記述も寄せられた他、コロナ禍が続いているので、比較をすることは難しいといった記述もあった。

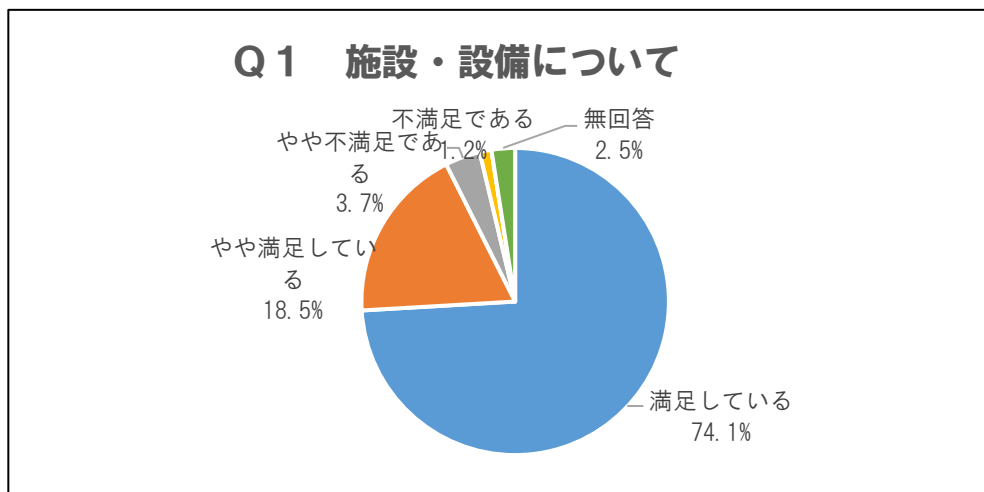
●2021年度 第2回利用者アンケート

- ・実施期間：2022年3月1日～3月31日
- ・回答数：81件（うち、webからの回答は31件）

※登録団体へ郵送、センター来館者へ手渡し、ホームページ・facebook ページへの掲載、メーリングリストへの発信により回答を依頼。また調査票にQRコードを載せて、スマートフォンからでも回答がしやすいようにした。

◇集計結果の報告

Q1. 当センターの『施設・設備』（会議室、印刷機、活動サロン、貸出備品等）の使いやすさなど、全体的な満足度について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。



*自由記述の主な内容

[評価・謝辞等]

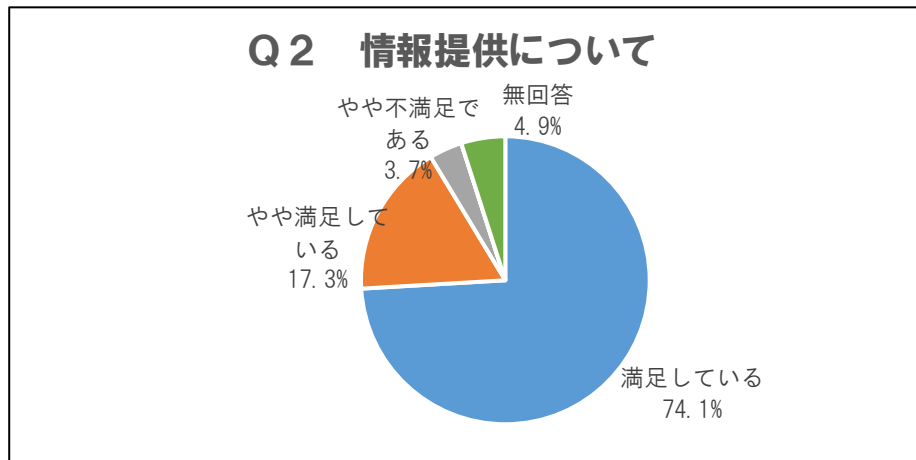
- ・会議室等は無料なのが本当に助かる。
- ・年末年始以外は無休なのありがたい。
- ・印刷機の料金が安く、用紙も安価で購入できるのがよい。
- ・ロッカーがあり、助かっている。
- ・Wi-Fi環境が整備された。体感的には以前より早くなったと思う。

[意見・要望等]

- ・もう少し（もっと）広い会議室があるとよい。
- ・Wi-Fiの接続が不安定と感じる。

5. 経営管理業務

Q2. センターの『情報提供』（ホームページ、「ちばさぼ通信」、メールマガジン、facebook ページ等）の満足度について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。



* 自由記述の主な内容

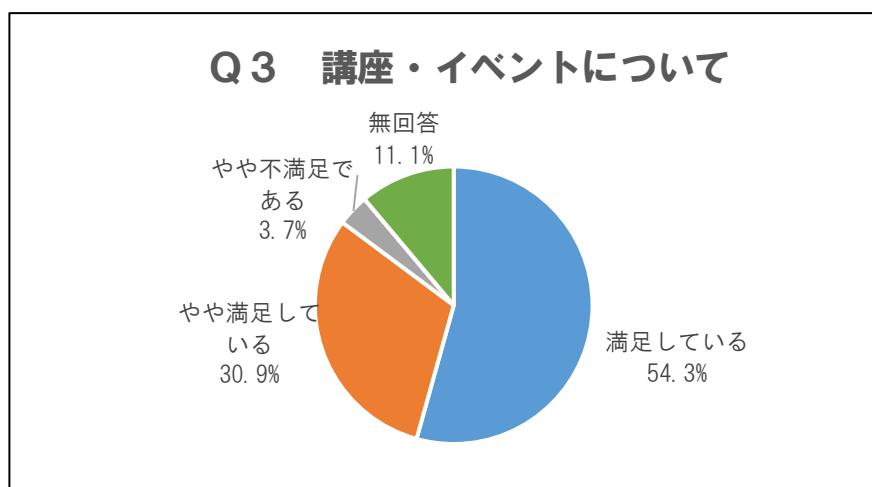
[評価・謝辞等]

- ・ちばさぼ通信がオールカラーで読みやすい。
- ・他団体の活動紹介や助成金情報が参考になる。社会の問題やテーマの切り口を知る機会にもなっている。
- ・コロナ禍での利用制限などの情報も発信してくれるのは、利用者にとってありがたい。
- ・紙媒体とホームページの両方で発信があり、助かっている。

[意見・要望等]

- ・ホームページへの情報（団体情報など）を増やしてほしい。
- ・紙媒体で送られてくる資料を団体内に伝達することが難しい。

Q3. センターの『講座やイベント』について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。



*自由記述の主な内容

[評価・謝辞等]

- ・興味深い内容の講座やイベントが多い。
- ・いろいろ工夫していると思う。フェスタの運営については満足している。
- ・コロナ禍でなかなか参加できないが、終息したら参加したいものがたくさんある。
- ・オンライン方式でも参加ができることは、時間的制約がある人にとって助かる。

[意見・要望等]

- ・オンラインでの講座が増えており、少し参加し難い状況だった。
- ・オンライン会議システムやSNS、動画編集などについての講座を増やしてほしい。
- ・社会の課題に対して、講座の多様性が少ないように思う。

Q4. その他、ご感想やセンターに期待すること、団体の課題など何でも自由にお書きください。

*自由記述の主な内容

- ・コロナが終息しない中、活動の場として施設を開いていただいているのはありがたい。
- ・新たな連携の動きが作り出されるよう、団体の交流機会を（リアル・オンライン問わず）増やしていけるとよいと思う。
- ・スタッフの方が、業務の枠を超えて気遣いいただけることが大変嬉しい。
- ・最初は小さな団体だったが、年々活動が広がり、その拠点として大変ありがたく利用させていただいている。

◇アンケート結果の分析

- ・「施設・設備」については、約4分の3が「満足している」という回答だった。会議室等が無料で使えることに対する評価が高いが、今回も「もう少し（もっと）広い会議室がほしい」というコメントが複数寄せられた。Wi-Fi環境については、整備されていることを評価するコメントと、接続が不安定である（安定性を向上させてほしい）という要望とが寄せられた。可能な対策は講じているので、そのことを周知していきたい。
- ・「情報提供」については、約4分の3が「満足している」という回答だったが、自由記述ではさまざまなコメントが寄せられた。紙媒体は団体内（メンバー）で共有することが難しいとの意見もあったので、「ちばさぼ通信」はホームページ上にデータを公開していることを周知する等、さらなる工夫をしていきたい。
- ・「講座・イベント」については、「満足している」という回答が5割強と、他の設問より少なめであった。講座の内容に関する具体的な要望も寄せられているので、参考にしたい。また開催方式について、オンラインだと参加しやすくなる人と、参加しづらくなる人の両方がいることが、自由記述の内容からも見てとれた。
- ・最後の設問（Q4）の自由記述には、多くの謝辞を寄せいただいた他、今後（コロナの終息後に）行ってほしい事業についてのコメントもいただいたので参考にしたい。

(2) 自己評価

●4月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 4「情報誌の発行」に関して、表紙に団体の活動の様子がわかる写真を配置するなど、デザインの工夫をした他、発行月は計画では「5月上旬」としたが、4月26日に納品され、登録団体宛での発送作業は月内に完了させた。
- ・事業 No. 6「ホームページの運営」に関して、当センターの事業等の案内の他、登録団体が主催する事業や、市（区）から寄せられた補助金の情報なども積極的に掲載した。

○自主事業：概ね計画通り

○その他

(特になし。)

●5月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 15「ボランティア・市民活動マッチングプログラム」に関して、今年度はまずは「マッチングカタログ」を制作することとし、準備を進めているが、掲載団体募集にあたっては、分野のバランスも考慮して、個別に呼びかけも行うなどした。

○自主事業：概ね計画通り

○その他

(特になし。)

●6月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 17「多様な主体との連携づくり」に関して、国家戦略特区推進課より、シェアリングエコノミー推進事業（クラウドファンディングセミナー・ワークショップ等）の、特に広報面での協力依頼があり、対応することとした。また調整中だが、オンライン方式のセミナーだと参加が困難という方のために、センターをサテライト会場にすることも模索している。

○自主事業：概ね計画通り

○その他

(特になし。)

●7月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 15「ボランティア・市民活動マッチングプログラム」に関して、昨年度末から企画をし、制作にとりかかっていた「市民活動マッチングカタログ2021」が完成した。対面方式による「マッチングイベント」の開催が難しい状況ということもあり、カタログは、ホームページに掲載をして自由にダウンロードできるようにし

5. 経営管理業務

ている他、今後、市内の高校や大学、主要公共施設等に配布をする予定である。

○自主事業：概ね計画通り

- ・7月27日付けで、令和3年度事業計画書の一部内容変更についての届が承認されたことを受け、新たに事業 No. 34 として「ちばし地域づくり大学校講師の請負」を追加した。

○その他

(特になし。)

●8月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 17「多様な主体との連携」に関して、国家戦略特区推進課が主催の「シェアリングエコノミー推進事業」に広報面などで協力をしてきたが、オンライン開催される「クラウドファンディングセミナー」のうち、8月28日(土)14時からの開催分を、当センター談話室にて視聴できるようにした。(登録団体にメーリングリスト等で案内をし、3名が参加した。)なお、受付や当日の運営はすべて主催者や受託者が実施。当日はセンター職員1名が立ち合い、プロジェクターなど備品の貸し出しのみを行った。

○自主事業：概ね計画通り

○その他

(特になし。)

●9月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 7「市民活動フェスタの開催」に関して、緊急事態宣言が続いていることから、参加団体説明会をオンラインと対面のハイブリッド方式で開催した。また、録画をしてホームページで公開し、録画を視聴することでも説明会に参加したものとみなすこととした。
- ・事業 No. 23「専門家による個別相談」に関して、一件の相談をオンライン方式により実施した。なお、相談員はセンターに来館した。

○自主事業：概ね計画通り

- ・今年度の途中で、事業計画の変更により新規で承認された事業 No. 34「ちばし地域づくり大学校講師の請負」に関して、今月から担当の講義がスタートした。

○その他

(特になし。)

●10月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 15「ボランティア・市民活動マッチングプログラム」に関して、年度事業計画書に記載したように、マッチングイベントはオンラインの活用も想定していたが、このたび開催を決定して準備を進めている。具体的には、受入団体のみ会場に

5. 経営管理業務

集合し、ボランティアや会員募集のPRをする様子を動画でオンライン配信し、活動に参加したい人はそれを視聴する形とする。つまり、直接顔を合わせてのマッチングの場とはしない。

- ・事業 No. 17「多様な主体との連携」に関して、千葉県県民生活・文化課からの協力依頼に応じ、「地域ボランティア活動環境整備事業」という新規事業に協力。その事業で作成されるマッチングサイトの周知や、掲載団体の募集、紹介などで協力することとなった。

○自主事業：概ね計画通り

- ・今年度の途中で、事業計画の変更により新規で承認された事業 No. 34「ちばし地域づくり大学校講師の請負」に関して、今月で担当の講義がすべて終了した。

○その他

(特になし。)

●11月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 7「市民活動フェスタの開催」に関して、周知の拡大を図るべく、「Line 公式アカウント」を今年度初めて開設した。11月末日時点で35名が登録をしている。
- ・事業 No. 24「施設のPR」に関して、12/1（水）および12/8（水）にJR千葉駅エキナカにおいて開催される実証実験「まちとつながるステーション」に出展予定で、主催側の事務局と準備のやりとりを進めている。

○自主事業：概ね計画通り

○その他

(特になし。)

●12月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 24「施設のPR」に関して、JR千葉駅エキナカ4階において開催された実証実験「まちとつながるステーション」（主催：JR東日本フロンティアサービス研究所）に、千葉市の出張相談の位置付けで、12月1日と8日の2日間、出展をした。

○自主事業：概ね計画通り

○その他

(特になし。)

●1月

○受託事業：概ね計画通り

○自主事業：概ね計画通り

○その他

- ・千葉県が主催する、市民活動支援組織ネットワークの令和3年度第2回幹事会に出席した他、千葉県と千葉県社会福祉協議会が共催の研修会に参加するなど、県の事業に積極的に参画している。

●2月

○受託事業：概ね計画通り

○自主事業：概ね計画通り

○その他

- ・危機管理課からの呼びかけに応じて、「千葉市における三者連携に関する協議」（意見交換の場）に参加している。

●3月

○受託事業：概ね計画通り

○自主事業：概ね計画通り

○その他

（特になし。）

（3）市との連絡調整の実施状況

- ・市との連絡調整については、日常的には電話および電子メールで行っているが、毎月一回、月次報告書提出の際に直接の打合せの場を設け、必要な報告や協議等を行っている。

6. 収支決算

(1) 受託事業の収支決算書

【収入の部】

分類項目	摘要	金額 (円)	小計 (円)
事業収入	指定管理料	19,281,000	19,281,000
	合計金額	19,281,000	19,281,000

【支出の部】

分類項目	摘要	金額 (円)	小計 (円)	
人件費	スタッフ人件費・業務交通費	11,334,955	11,334,955	
事務費	印刷機費用	73,620	1,358,757	
	コピー機費用	61,044		
	一般事務消耗品費	158,523		
	レンタル備品費	1,065,570		
光熱費	電気水道光熱費	700,422	700,422	
通信費	電話回線使用料	186,836	212,719	
	プロバイダー料	25,883		
	郵便料金等	0		
管理費	保険料	14,299	3,947,779	
	ビル管理業務委託	238,024		
	清掃業務委託費	80,016		
	修繕費	33,440		
	事務局費	3,582,000		
事業費	情報事業	1 市民公益活動関連情報資料の収集・提供	0	1,043,269
		2 ボランティア情報の収集・管理・提供	0	
		3 図書の収集・管理・活用	18,522	
		4 情報誌の発行	945,569	
		5 メールマガジンの配信	0	
		6 ホームページの運営	79,178	
	交流事業	7 市民活動フェスタの開催	911,469	1,440,397
		8 市民活動交流サロン	3,444	
		9 千葉市を元気にするフォーラム	72,920	
		10 まちなかボランティア養成講座	94,928	
		11 ファシリテーター養成講座	59,700	
		12 地域コーディネーター養成講座	31,722	
		13 市民活動ステップアップ講座	65,496	
		14 話し方・プレゼンテーション実践講座	141,826	
		15 ボランティア・市民活動マッチングプログラム	58,892	
		16 サポーターの募集・育成	0	
		17 多様な主体との連携づくり	0	
		18 ボランティア募集情報提供施設との連携づくり	0	
		19 市民活動伝言板の設置	0	
		20 メーリングリストの運営	0	
		21 複数団体の連携の推進・支援	0	
相談事業	22 日常的な相談	0	80,054	
	23 専門家による個別相談	80,054		
その他	24 施設のPR	0	65,574	
	25 登録団体の企画支援	0		
	26 セルフカフェコーナーの設置	0		
	27 シニア世代の地域活動促進事業	65,574		
	28 運営協議会の設置・運営	0		
	29 「NPO法人を目指す方のための説明会」参加申込受付業務	0		
	合計金額	20,183,926	20,183,926	

(2) 自主事業の収支決算書

【収入の部】

分類項目	摘 要	金額 (円)	小計 (円)
事業収入	30 情報誌への折り込み	90,000	612,172
	31 印刷機の貸出	197,290	
	32 カラーコピー機の設置	107,250	
	33 飲料・消耗品類の販売	77,632	
	34 ちばし地域づくり大学校講師の請負	140,000	
雑収入	銀行利息等	6	6
合 計 金 額		612,178	612,178

【支出の部】

分類項目	摘 要	金額 (円)	小計 (円)
人件費	スタッフ人件費・業務交通費	103,248	103,248
管理費	保険料	143	36,143
	事務局費	36,000	
事業費	30 情報誌への折り込み	0	424,101
	31 印刷機の貸出	171,780	
	32 カラーコピー機の設置	61,026	
	33 飲料・消耗品類の販売	51,295	
	34 ちばし地域づくり大学校講師の請負	140,000	
合 計 金 額		563,492	563,492

自主事業収支残高		48,686
----------	--	--------